中部道路啓開計画　具体計画図　目次

○静岡県

富士・富士宮 1
北駿 2
南駿 3
三島・函南 4
田方 5
熱海・伊東 6
賀茂東 7
賀茂西 8
牧之原 9
牧之原（川根） 10
吉田 11
焼津 12
静岡 13
清水 14
興津 15
湖西 16
浜松② 17
浜松① 18
磐田 19
袋井 20
掛川 21
菊川 22

○愛知県

田原 23
豊橋 24
蒲郡 25
幸田 26
西尾 27
碧南 28
刈谷 29
大府 30
半田 31
武豊 32
美浜 33

南知多 34
常滑 35
知多 36
名古屋沿岸部 37
弥富 38
一宮 39
江南 40
春日井 41
名古屋内陸部 42
豊田 43
豊田２ 44
岡崎 45
新城 46

〇三重県

桑名 47
四日市 48
鈴鹿 49
亀山 50
津１ 51
津２ 52
松坂１ 53
松坂２ 54
伊勢１ 55
伊勢２ 56
伊勢３ 57
志摩１ 58
志摩２ 59
尾鷲１ 60
尾鷲２ 61
尾鷲３ 62
熊野１ 63
熊野２ 64

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／富士・富士宮



最大浸水深（m）
0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～ 10m未満
10m以上～ 20m未満
20m以上～

被害想定

がれき量	3,574㎥
橋梁段差	104橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

必要資機材量

大型土のう	0袋
盛土	0㎥
土砂	25.18㎥
RC-40	773㎥
バックホウ（0.8㎥）	6台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ(3t/15t級)	5台
ﾀｲﾔﾛｰﾗｰ(8～20t)	5台
振動ﾛｰﾗｰ(0.8～1.1t)	0台
振動ﾛｰﾗｰ(3～4t)	5台

凡　例
- 資材置場
- コンクリートプラント
- アスファルトプラント

優先啓開ルート
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

凡　例
- 広域進出拠点
- 進出拠点
- 救助活動拠点
- その他の拠点
- 広域支援ルート
- 被災地進出ルート
- 被災地内ルート
- 迂回路
- 拠点アクセスルート
- 無電柱化区間

凡　例
- 国機関庁舎
- 高速道路管理庁舎
- 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
- 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
- 海上保安庁庁舎
- 警察本部庁舎
- 消防本部庁舎
- 航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 空港（公共用ヘリポート含む）
- 非公共用ヘリポート・発着基地
- 港湾関係　指定特定重要港湾
- 港湾関係　重要港湾
- 港湾関係　地方港湾
- 災害拠点病院　基幹災害医療センター
- 災害拠点病院　地域災害医療センター
- 災害用医薬品備蓄拠点等
- 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
- 航空輸送拠点
- 広域物資輸送拠点
- 公的物資拠点
- 民間物資拠点ターミナル
- 民間物資拠点倉庫
- 道の駅
- 油槽所・製油所
- 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
- 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
- 原子力発電所
- 河川防災ステーション
- その他

凡　例

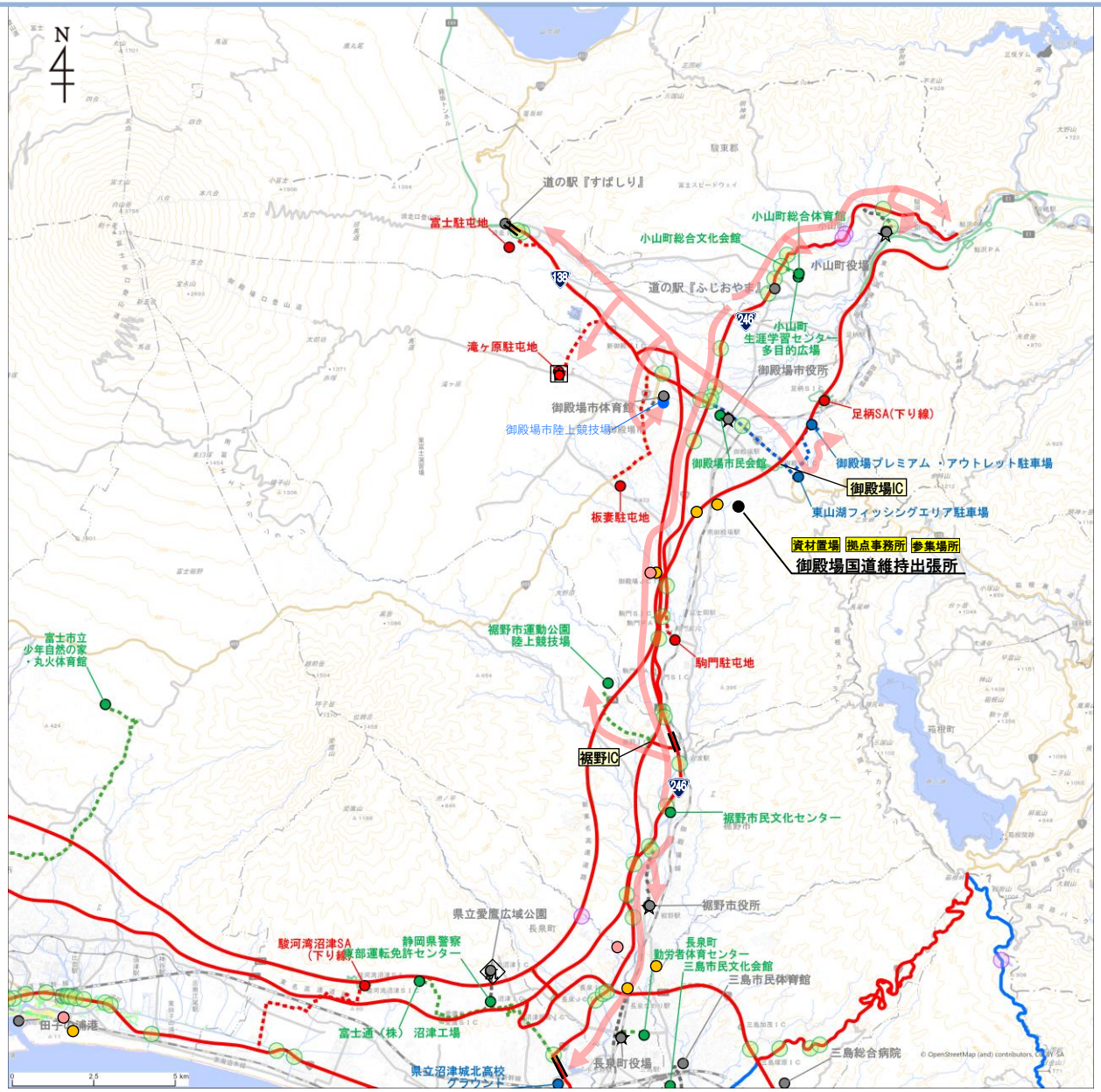
空路・海路のアクセスに寄与する拠点
※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
- ●：ヘリポートを有する拠点
- ▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁
- ■：砂浜

注）高速道路については、概ね1日で啓開を行うものとする。
注）迂回路がなく片押し作業となる区間は、啓開の迅速化を図るために適宜作業パーティを編成。

注）24時間体制（8時間×3班）で算定したものである。
注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／北駿



最大浸水深（m）
0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

被害想定

がれき量	508㎥
橋梁段差	74橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	2箇所

必要資機材量

大型土のう	60袋
盛土	0㎥
土砂	12.58㎥
RC-40	518㎥
バックホウ(0.8㎥)	8台
ブルドーザー(3t/15t級)	6台
タイヤローラー(8～20t)	6台
振動ローラー(0.8～1.1t)	0台
振動ローラー(3～4t)	6台

凡　例
- 資材置場
- コンクリートプラント
- アスファルトプラント

凡　例
- 優先啓開ルート
- ※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

凡　例
- 広域進出拠点
- 進出拠点
- 救助活動拠点
- その他の拠点
- 広域支援ルート
- 被災地進出ルート
- 被災地内ルート
- 迂回路
- 拠点アクセスルート
- 無電柱化区間

凡　例
- 国機関庁舎
- 高速道路管理庁舎
- 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
- 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
- 海上保安庁庁舎
- 警察本部庁舎
- 消防本部庁舎
- 航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 空港（公共用ヘリポート含む）
- 非公共用ヘリポート・発着基地
- 港湾関係　指定特定重要港湾
- 港湾関係　重要港湾
- 港湾関係　地方港湾
- 災害拠点病院　基幹災害医療センター
- 災害拠点病院　地域災害医療センター
- 災害用医薬品備蓄拠点等
- 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
- 航空輸送拠点
- 広域物資輸送拠点
- 公的物資拠点
- 民間物資拠点ターミナル
- 民間物資拠点倉庫
- 道の駅
- 油槽所・製油所
- 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
- 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
- 原子力発電所
- 河川防災ステーション
- その他

凡　例

空路・海路のアクセスに寄与する拠点
※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
- ●：ヘリポートを有する拠点
- ▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁
- ■：砂浜

注）高速道路については、概ね１日で啓開を行うものとする。
注）迂回路がなく片押し作業となる区間は、啓開の迅速化を図るために適宜作業パーティを編成。

注）24時間体制（8時間×3班）で算定したものである。
注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／南駿

最大浸水深（m）
0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～ 10m未満
10m以上～ 20m未満
20m以上～

被害想定	
がれき量	8,781㎥
橋梁段差	56橋台
橋梁流出	2橋
落橋	1橋
斜面崩壊	12箇所

必要資機材量	
大型土のう	360袋
盛土	0㎥
土砂	10.52㎥
RC-40	398㎡
バックホウ(0.8㎥)	61台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ(3t/15t級)	12台
ﾀｲﾔﾛｰﾗｰ(8～20t)	12台
振動ﾛｰﾗｰ(0.8～1.1t)	3台
振動ﾛｰﾗｰ(3～4t)	12台

凡　例
- 資材置場
- コンクリートプラント
- アスファルトプラント



凡　例
- 優先啓開ルート
- ※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

凡　例
- 広域進出拠点
- 進出拠点
- 救助活動拠点
- その他の拠点
- 広域支援ルート
- 被災地進出ルート
- 被災地内ルート
- 迂回路
- 拠点アクセスルート
- 無電柱化区間

凡　例
- 国機関庁舎
- 高速道路管理庁舎
- 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
- 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
- 海上保安庁庁舎
- 警察本部庁舎
- 消防本部庁舎
- 航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 空港（公共用ヘリポート含む）
- 非公共用ヘリポート・発着基地
- 港湾関係　指定特定重要港湾
- 港湾関係　重要港湾
- 港湾関係　地方港湾
- 災害拠点病院　基幹災害医療センター
- 災害拠点病院　地域災害医療センター
- 災害用医薬品備蓄拠点等
- 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
- 航空輸送拠点
- 広域物資輸送拠点
- 公的物資拠点
- 民間物資拠点ターミナル
- 民間物資拠点倉庫
- 道の駅
- 油槽所・製油所
- 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
- 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
- 原子力発電所
- 河川防災ステーション
- その他

凡　例
空路・海路のアクセスに寄与する拠点
※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
- ●：ヘリポートを有する拠点
- ▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁
- ■：砂浜

注）高速道路については、概ね１日で啓開を行うものとする。
注）迂回路がなく片押し作業となる区間は、啓開の迅速化を図るために適宜作業パーティを編成。

注）24時間体制（8時間×3班）で算定したものである。
注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／三島・函南



最大浸水深（m）
0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

被害想定

がれき量	398㎥
橋梁段差	16橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

必要資機材量

大型土のう	0袋
盛土	0㎥
土砂	2.72㎥
RC-40	112㎡
バックホウ（0.8㎥）	6台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ（3t/15t級）	4台
ﾀｲﾔﾛｰﾗｰ（8～20t）	4台
振動ﾛｰﾗｰ（0.8～1.1t）	0台
振動ﾛｰﾗｰ（3～4t）	4台

凡　例
- 資材置場
- コンクリートプラント
- アスファルトプラント

凡　例
- 優先啓開ルート
- ※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

凡　例
- 広域進出拠点
- 進出拠点
- 救助活動拠点
- その他の拠点
- 広域支援ルート
- 被災地進出ルート
- 被災地内ルート
- 迂回路
- 拠点アクセスルート
- 無電柱化区間

凡　例
- 国機関庁舎
- 高速道路管理庁舎
- 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
- 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
- 海上保安庁庁舎
- 警察本部庁舎
- 消防本部庁舎
- 航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 空港（公共用ヘリポート含む）
- 非公共用ヘリポート・発着基地
- 港湾関係　指定特定重要港湾
- 港湾関係　重要港湾
- 港湾関係　地方港湾
- 災害拠点病院　基幹災害医療センター
- 災害拠点病院　地域災害医療センター
- 災害用医薬品備蓄拠点等
- 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
- 航空輸送拠点
- 広域物資輸送拠点
- 公的物資拠点
- 民間物資拠点ターミナル
- 民間物資拠点倉庫
- 道の駅
- 油槽所・製油所
- 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
- 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
- 原子力発電所
- 河川防災ステーション
- その他

凡　例
空路・海路のアクセスに寄与する拠点
※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
- ●：ヘリポートを有する拠点
- ▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁
- ■：砂浜

注）高速道路については、概ね１日で啓開を行うものとする。
注）迂回路がなく片押し作業となる区間は、啓開の迅速化を図るために適宜作業パーティを編成。

注）24時間体制（8時間×3班）で算定したものである。
注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／田方



最大浸水深（m）
0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

被害想定

がれき量	4,495㎥
橋梁段差	62橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	28箇所

必要資機材量

大型土のう	840袋
盛土	0㎥
土砂	12.54㎥
RC-40	446㎡
バックホウ（0.8㎥）	124台
ブルドーザー（3t/15t級）	10台
タイヤローラー（8～20t）	10台
振動ローラー（0.8～1.1t）	0台
振動ローラー（3～4t）	10台

凡　例
- 資材置場
- コンクリートプラント
- アスファルトプラント

凡　例
- 優先啓開ルート
- ※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

凡　例
- 広域進出拠点
- 進出拠点
- 救助活動拠点
- その他の拠点
- 広域支援ルート
- 被災地進出ルート
- 被災地内ルート
- 迂回路
- 拠点アクセスルート
- 無電柱化区間

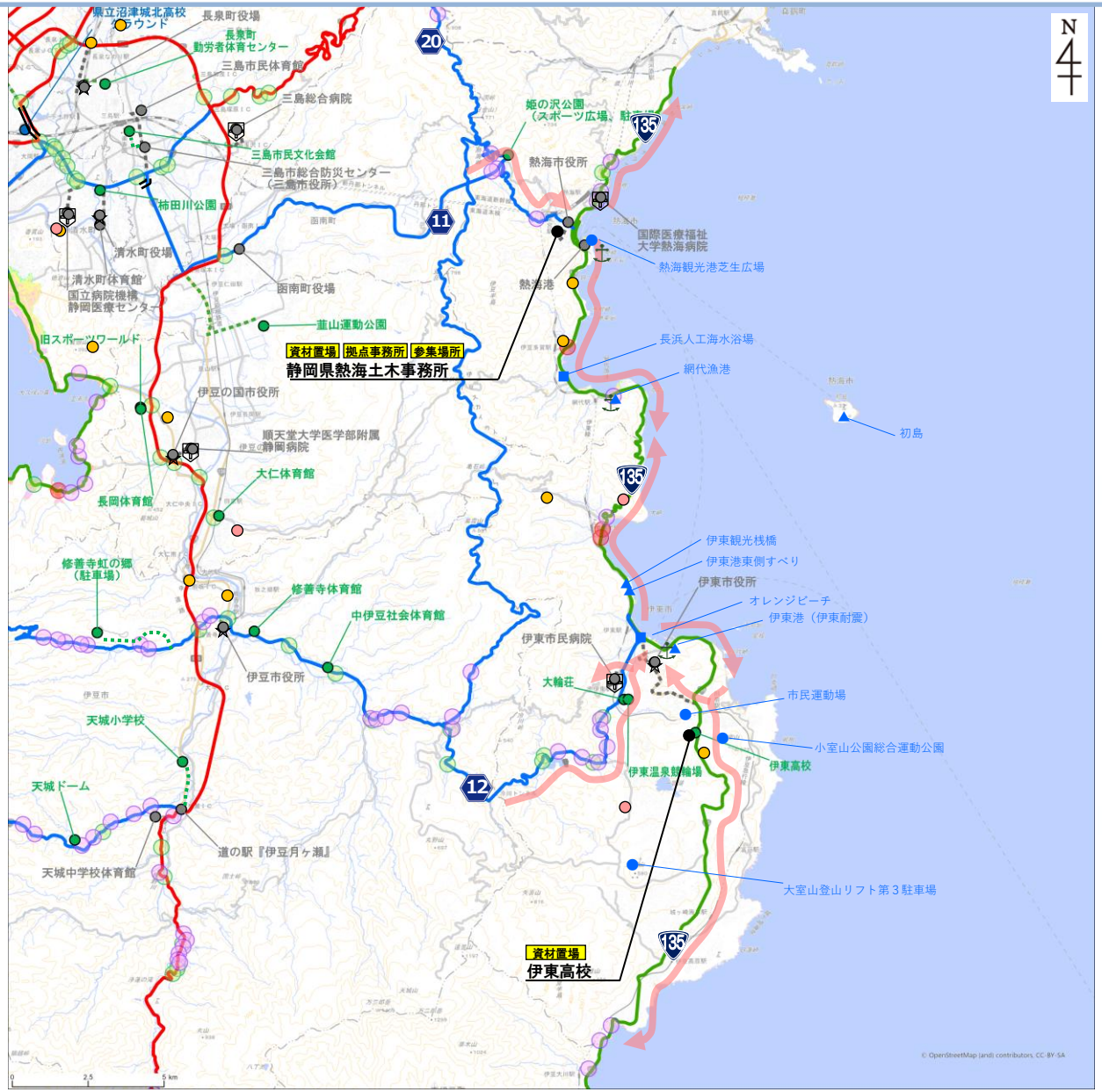
凡　例
- 国機関庁舎
- 高速道路管理庁舎
- 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
- 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
- 海上保安庁庁舎
- 警察本部庁舎
- 消防本部庁舎
- 航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 空港（公共用ヘリポート含む）
- 非公共用ヘリポート・発着基地
- 港湾関係　指定特定重要港湾
- 港湾関係　重要港湾
- 港湾関係　地方港湾
- 災害拠点病院　基幹災害医療センター
- 災害拠点病院　地域災害医療センター
- 災害用医薬品備蓄拠点等
- 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
- 航空輸送拠点
- 広域物資輸送拠点
- 公的物資拠点
- 民間物資拠点ターミナル
- 民間物資拠点倉庫
- 道の駅
- 油槽所・製油所
- 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
- 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
- 原子力発電所
- 河川防災ステーション
- その他

凡　例
空路・海路のアクセスに寄与する拠点
※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
- ●：ヘリポートを有する拠点
- ▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁
- ■：砂浜

注）高速道路については、概ね１日で啓開を行うものとする。
注）迂回路がなく片押し作業となる区間は、啓開の迅速化を図るために適宜作業パーティを編成。
注）24時間体制（8時間×3班）で算定したものである。
注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／熱海・伊東



最大浸水深（m）

	0.01m以上～0.3m未満
	0.3m以上～1.0m未満
	1.0m以上～2.0m未満
	2.0m以上～3.0m未満
	3.0m以上～5.0m未満
	5.0m以上～10m未満
	10m以上～20m未満
	20m以上～

被害想定

がれき量	10,576㎥
橋梁段差	20橋台
橋梁流出	3橋
落橋	0橋
斜面崩壊	15箇所

必要資機材量

大型土のう	450袋
盛土	0㎥
土砂	4.40㎥
RC-40	146㎡
バックホウ(0.8㎥)	46台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ(3t/15t級)	3台
ﾀｲﾔﾛｰﾗｰ(8～20t)	3台
振動ﾛｰﾗｰ(0.8～1.1t)	2台
振動ローラー(3～4t)	3台

凡　例
- 資材置場
- コンクリートプラント
- アスファルトプラント

優先啓開ルート
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

凡　例
- 広域進出拠点
- 進出拠点
- 救助活動拠点
- その他の拠点
- 広域支援ルート
- 被災地進出ルート
- 被災地内ルート
- 迂回路
- 拠点アクセスルート
- 無電柱化区間

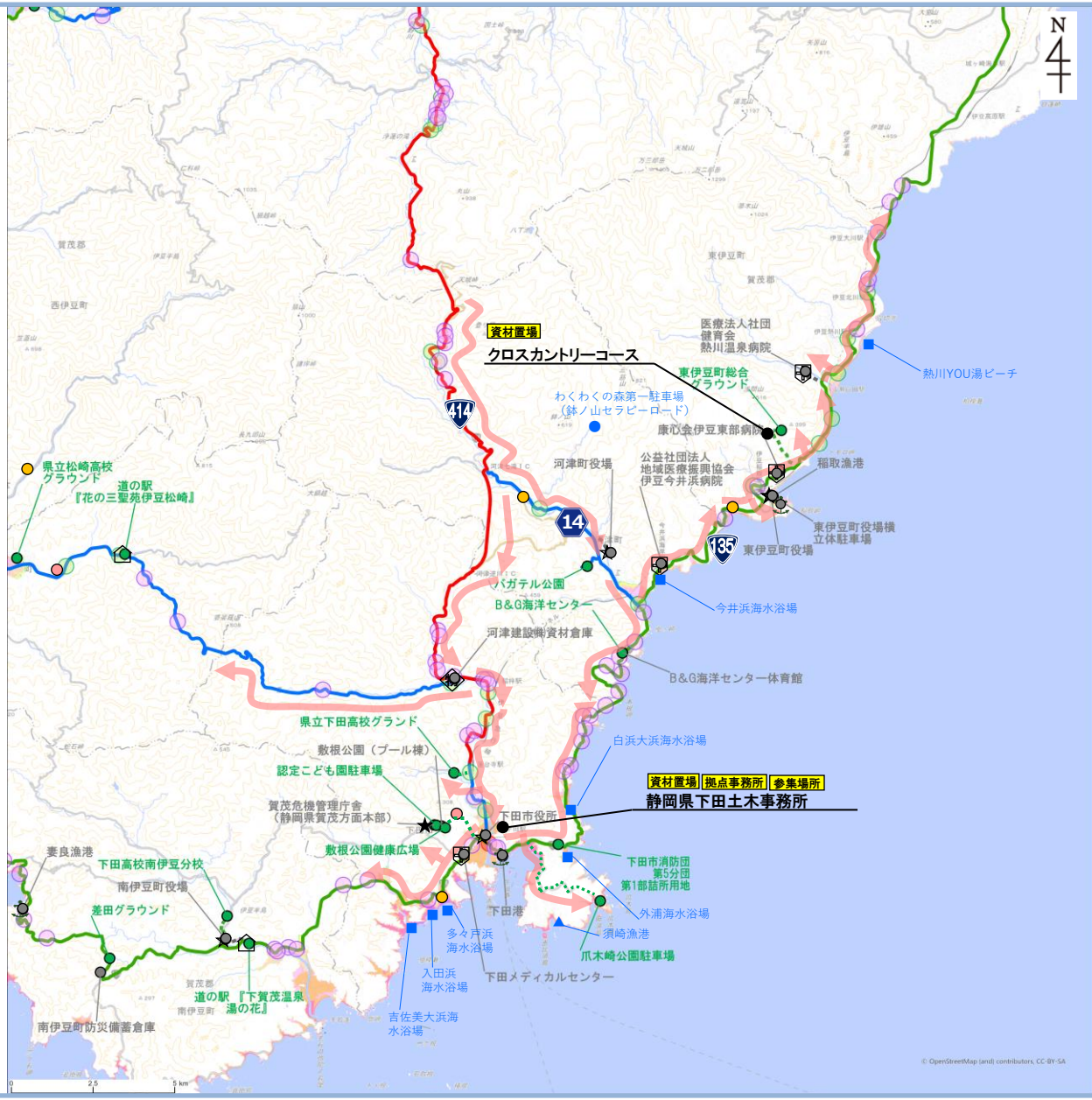
凡　例
- 国機関庁舎
- 高速道路管理庁舎
- 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
- 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
- 海上保安庁庁舎
- 警察本部庁舎
- 消防本部庁舎
- 航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 空港（公共用ヘリポート含む）
- 非公共用ヘリポート・発着基地
- 港湾関係　指定特定重要港湾
- 港湾関係　重要港湾
- 港湾関係　地方港湾
- 災害拠点病院　基幹災害医療センター
- 災害拠点病院　地域災害医療センター
- 災害用医薬品備蓄拠点等
- 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
- 航空輸送拠点
- 広域物資輸送拠点
- 公的物資拠点
- 民間物資拠点ターミナル
- 民間物資拠点倉庫
- 道の駅
- 油槽所・製油所
- 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
- 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
- 原子力発電所
- 河川防災ステーション
- その他

凡　例
空路・海路のアクセスに寄与する拠点
※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
- ●：ヘリポートを有する拠点
- ▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁
- ■：砂浜

注）高速道路については、概ね１日で啓開を行うものとする。
注）迂回路がなく片押し作業となる区間は、啓開の迅速化を図るために適宜作業パーティを編成。
注）24時間体制（8時間×3班）で算定したものである。
注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／賀茂東



最大浸水深（m）

	0.01m以上～0.3m未満
	0.3m以上～1.0m未満
	1.0m以上～2.0m未満
	2.0m以上～3.0m未満
	3.0m以上～5.0m未満
	5.0m以上～10m未満
	10m以上～20m未満
	20m以上～

被害想定

がれき量	17,749㎥
橋梁段差	30橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	39箇所

必要資機材量

大型土のう	1170袋
盛土	0㎥
土砂	7.10㎥
RC-40	222㎡
バックホウ(0.8㎥)	90台
ブルドーザー(3t/15t級)	7台
タイヤローラー(8～20t)	7台
振動ローラー(0.8～1.1t)	0台
振動ローラー(3～4t)	7台

凡　例
- 資材置場
- コンクリートプラント
- アスファルトプラント

凡　例
- 優先啓開ルート
- ※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

凡　例
- 広域進出拠点
- 進出拠点
- 救助活動拠点
- その他の拠点
- 広域支援ルート
- 被災地進出ルート
- 被災地内ルート
- 迂回路
- 拠点アクセスルート
- 無電柱化区間

凡　例
- 国機関庁舎
- 高速道路管理庁舎
- 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
- 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
- 海上保安庁庁舎
- 警察本部庁舎
- 消防本部庁舎
- 航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 空港（公共用ヘリポート含む）
- 非公共用ヘリポート・発着基地
- 港湾関係　指定特定重要港湾
- 港湾関係　重要港湾
- 港湾関係　地方港湾
- 災害拠点病院　基幹災害医療センター
- 災害拠点病院　地域災害医療センター
- 災害用医薬品備蓄拠点等
- 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
- 航空輸送拠点
- 広域物資輸送拠点
- 公的物資拠点
- 民間物資拠点ターミナル
- 民間物資拠点倉庫
- 道の駅
- 油槽所・製油所
- 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
- 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
- 原子力発電所
- 河川防災ステーション
- その他

凡　例

空路・海路のアクセスに寄与する拠点
※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
- ●：ヘリポートを有する拠点
- ▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁
- ■：砂浜

注）高速道路については、概ね１日で啓開を行うものとする。
注）迂回路がなく片押し作業となる区間は、啓開の迅速化を図るために適宜作業パーティを編成。

注）24時間体制（8時間×3班）で算定したものである。
注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／賀茂西



最大浸水深（m）
0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

被害想定

がれき量	23,747㎥
橋梁段差	26橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	23箇所

必要資機材量

大型土のう	690袋
盛土	0㎥
土砂	7.92㎥
RC-40	203㎥
バックホウ(0.8㎥)	113台
ブルドーザー(3t/15t級)	4台
タイヤローラー(8～20t)	4台
振動ローラー(0.8～1.1t)	0台
振動ローラー(3～4t)	4台

凡　例
- 資材置場
- コンクリートプラント
- アスファルトプラント

凡　例
- 優先啓開ルート
- ※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

凡　例
- 広域進出拠点
- 進出拠点
- 救助活動拠点
- その他の拠点
- 広域支援ルート
- 被災地進出ルート
- 被災地内ルート
- 迂回路
- 拠点アクセスルート
- 無電柱化区間

凡　例
- 国機関庁舎
- 高速道路管理庁舎
- 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
- 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
- 海上保安庁庁舎
- 警察本部庁舎
- 消防本部庁舎
- 航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 空港（公共用ヘリポート含む）
- 非公共用ヘリポート・発着基地
- 港湾関係　指定特定重要港湾
- 港湾関係　重要港湾
- 港湾関係　地方港湾
- 災害拠点病院　基幹災害医療センター
- 災害拠点病院　地域災害医療センター
- 災害用医薬品備蓄拠点等
- 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
- 航空輸送拠点
- 広域物資輸送拠点
- 公的物資拠点
- 民間物資拠点ターミナル
- 民間物資拠点倉庫
- 道の駅
- 油槽所・製油所
- 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
- 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
- 原子力発電所
- 河川防災ステーション
- その他

凡　例
空路・海路のアクセスに寄与する拠点
※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
- ●：ヘリポートを有する拠点
- ▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁
- ■：砂浜

注）高速道路については、概ね１日で啓開を行うものとする。
注）迂回路がなく片押し作業となる区間は、啓開の迅速化を図るために適宜作業パーティを編成。

注）24時間体制（8時間×3班）で算定したものである。
注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／牧之原



被害想定

がれき量	5,709㎥
橋梁段差	106橋台
橋梁流出	3橋
落橋	0橋
斜面崩壊	3箇所

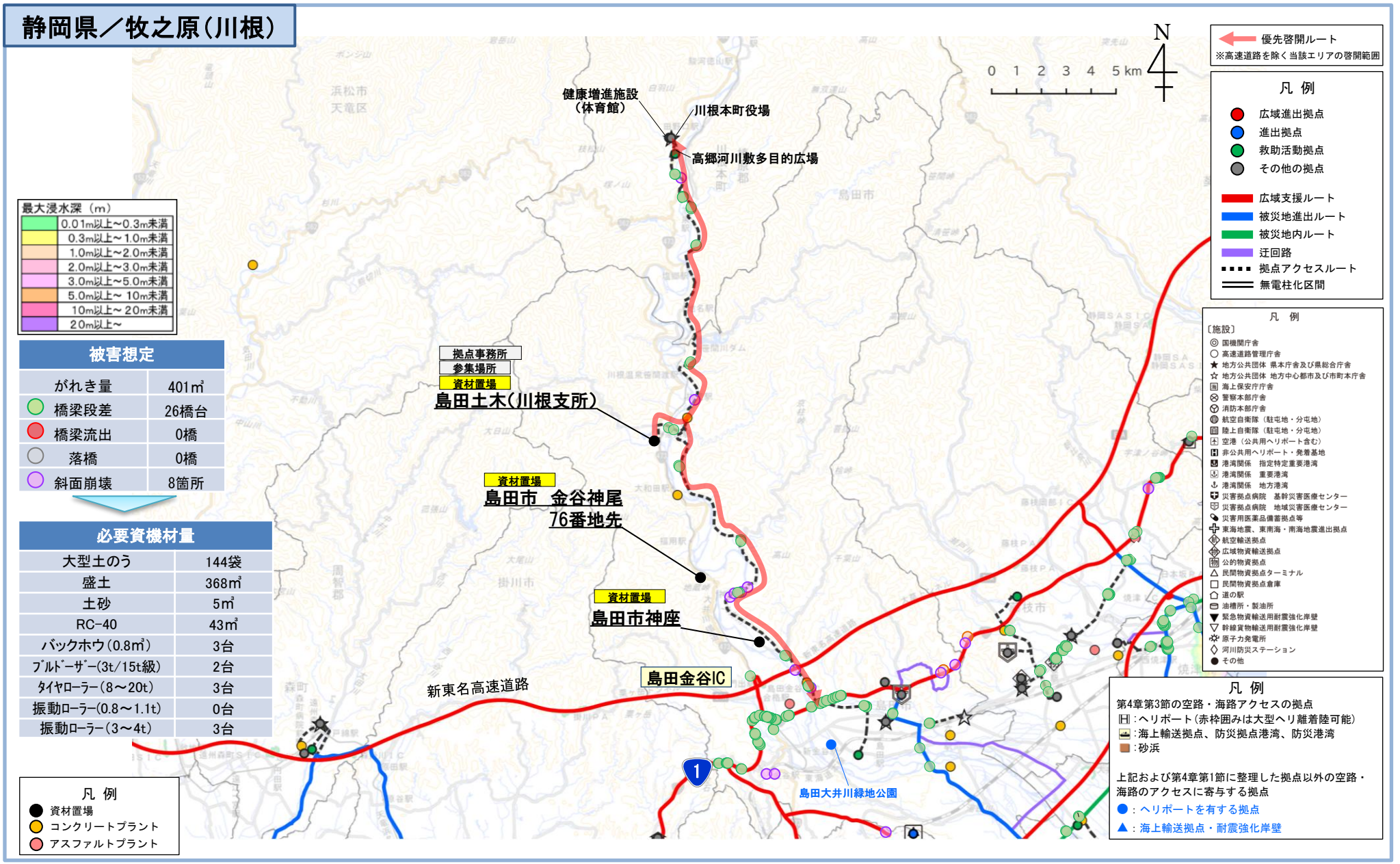
必要資機材量

大型土のう	54袋
盛土	138㎥
土砂	28㎥
RC-40	89㎥
バックホウ(0.8㎥)	8台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ(3t/15t級)	2台
ﾀｲﾔﾛｰﾗｰ(8～20t)	2台
振動ﾛｰﾗｰ(0.8～1.1t)	0台
振動ﾛｰﾗｰ(3～4t)	2台

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／牧之原（川根）



被害想定

がれき量	401㎥
橋梁段差	26橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	8箇所

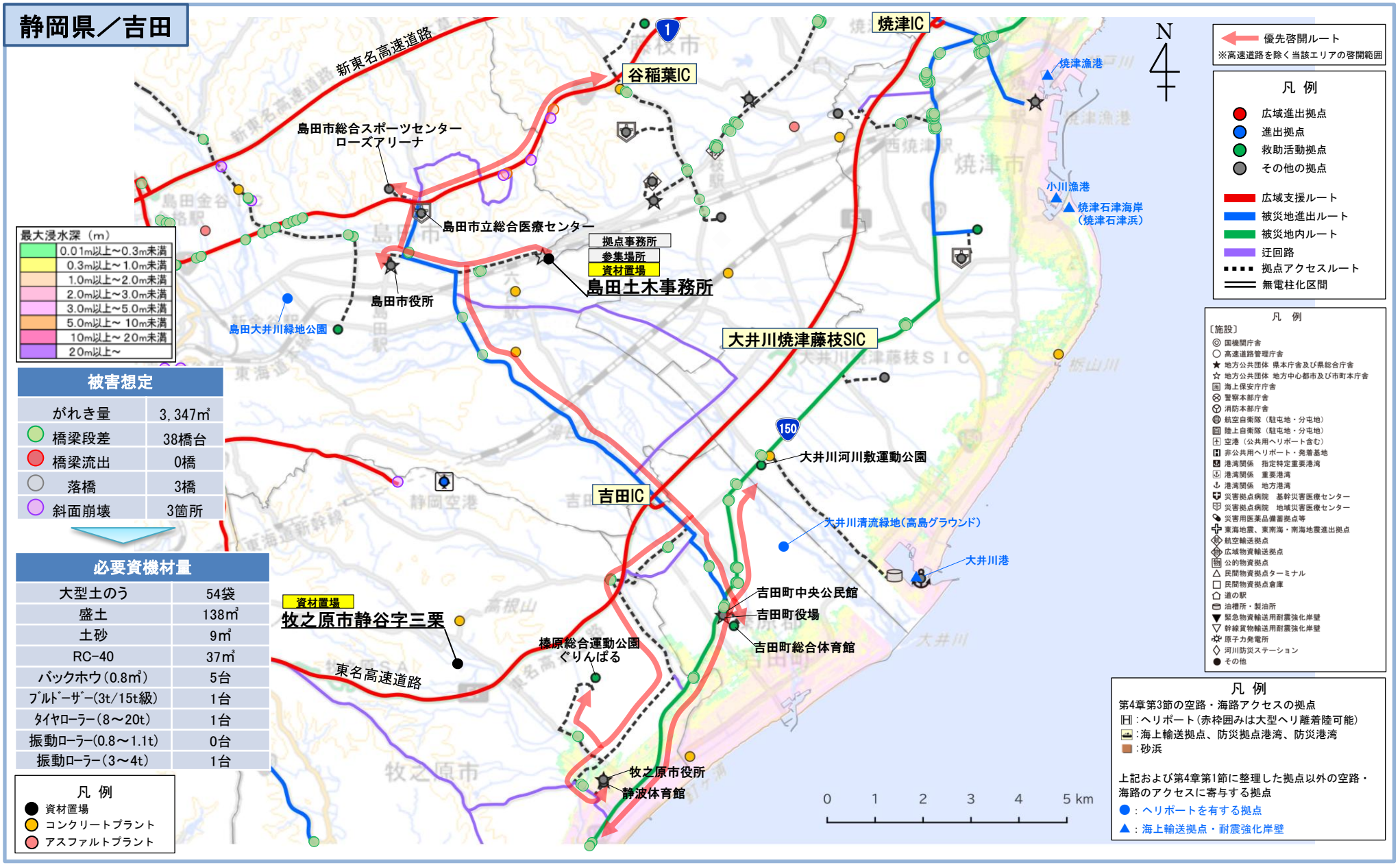
必要資機材量

大型土のう	144袋
盛土	368㎥
土砂	5㎥
RC-40	43㎥
バックホウ（0.8㎥）	3台
ブルドーザー（3t/15t級）	2台
タイヤローラー（8～20t）	3台
振動ローラー（0.8～1.1t）	0台
振動ローラー（3～4t）	3台

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／吉田



最大浸水深（m）

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

被害想定

がれき量	3,347㎥
橋梁段差	38橋台
橋梁流出	0橋
落橋	3橋
斜面崩壊	3箇所

必要資機材量

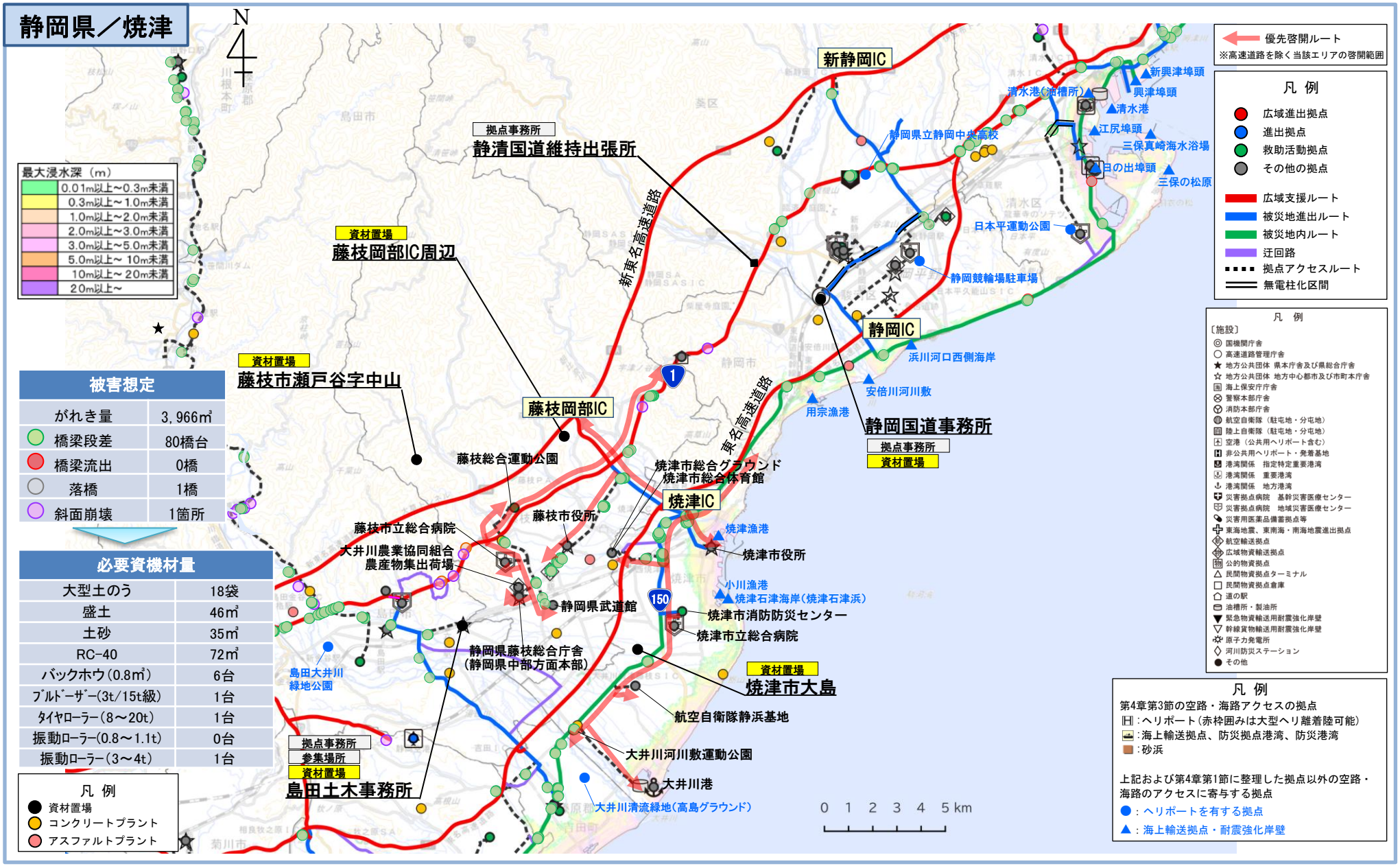
大型土のう	54袋
盛土	138㎥
土砂	9㎥
RC-40	37㎥
バックホウ（0.8㎥）	5台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ(3t/15t級)	1台
ﾀｲﾔﾛｰﾗｰ（8～20t）	1台
振動ﾛｰﾗｰ(0.8～1.1t)	0台
振動ﾛｰﾗｰ（3～4t）	1台

凡 例
- 資材置場
- コンクリートプラント
- アスファルトプラント

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／焼津



注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／静岡



最大浸水深（m）
0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

被害想定

がれき量	2,171㎥
橋梁段差	29橋台
橋梁流出	1橋
落橋	0橋
斜面崩壊	1箇所

必要資機材量

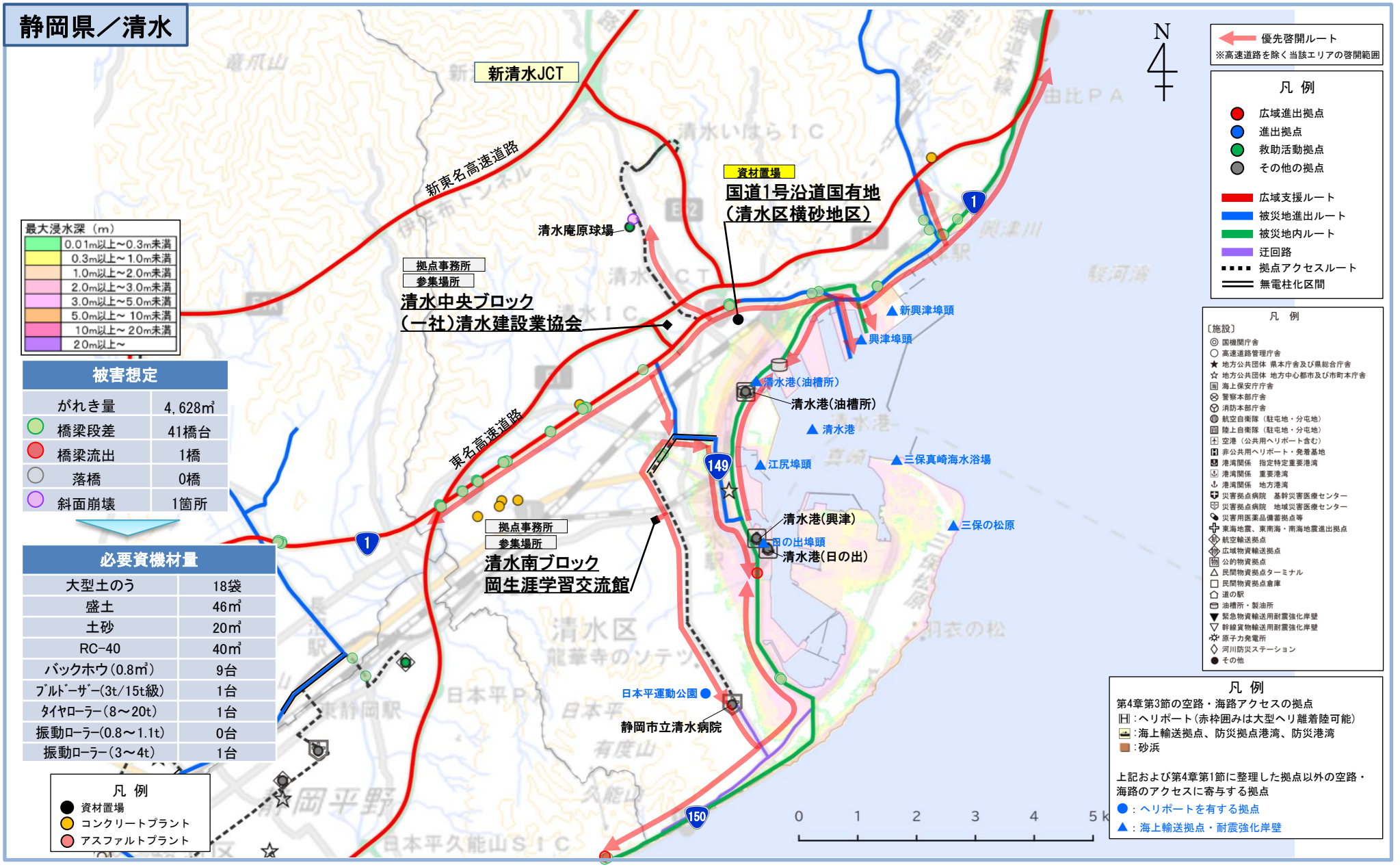
大型土のう	18袋
盛土	46㎥
土砂	8㎥
RC-40	25㎥
バックホウ（0.8㎥）	4台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ（3t/15t級）	1台
ﾀｲﾔﾛｰﾗｰ（8～20t）	1台
振動ﾛｰﾗｰ（0.8～1.1t）	0台
振動ﾛｰﾗｰ（3～4t）	1台

凡 例
- 資材置場
- コンクリートプラント
- アスファルトプラント

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／清水



最大浸水深（m）

	0.01m以上～0.3m未満
	0.3m以上～1.0m未満
	1.0m以上～2.0m未満
	2.0m以上～3.0m未満
	3.0m以上～5.0m未満
	5.0m以上～10m未満
	10m以上～20m未満
	20m以上～

被害想定

がれき量	4,628㎥
橋梁段差	41橋台
橋梁流出	1橋
落橋	0橋
斜面崩壊	1箇所

必要資機材量

大型土のう	18袋
盛土	46㎥
土砂	20㎥
RC-40	40㎥
バックホウ（0.8㎥）	9台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ（3t/15t級）	1台
ﾀｲﾔﾛｰﾗｰ（8～20t）	1台
振動ローラー（0.8～1.1t）	0台
振動ローラー（3～4t）	1台

凡 例
- 資材置場
- コンクリートプラント
- アスファルトプラント

凡 例
- 優先啓開ルート
- ※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

凡 例
- 広域進出拠点
- 進出拠点
- 救助活動拠点
- その他の拠点
- 広域支援ルート
- 被災地進出ルート
- 被災地内ルート
- 迂回路
- 拠点アクセスルート
- 無電柱化区間

凡 例
〔施設〕
- ◎ 国機関庁舎
- ○ 高速道路管理庁舎
- ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
- ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
- 海上保安庁庁舎
- 警察本部庁舎
- 消防本部庁舎
- 航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 空港（公共用ヘリポート含む）
- 非公共用ヘリポート・発着基地
- 港湾関係　指定特定重要港湾
- 港湾関係　重要港湾
- 港湾関係　地方港湾
- 災害拠点病院　基幹災害医療センター
- 災害拠点病院　地域災害医療センター
- 災害用医薬品備蓄拠点等
- 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
- 航空輸送拠点
- 広域物資輸送拠点
- 公的物資拠点
- △ 民間物資拠点ターミナル
- □ 民間物資拠点倉庫
- 道の駅
- 油槽所・製油所
- ▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
- ▽ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
- 原子力発電所
- ◇ 河川防災ステーション
- ● その他

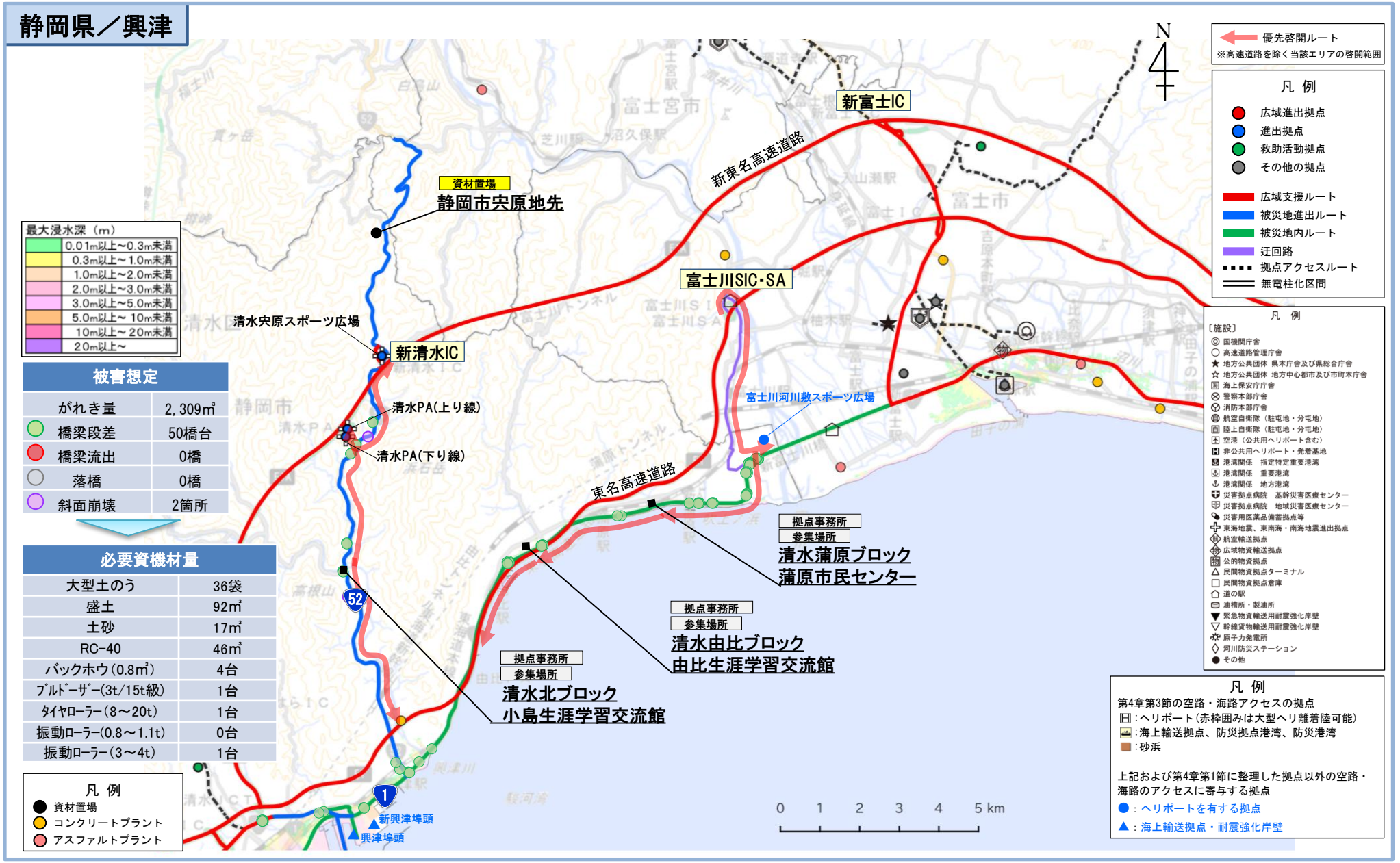
凡 例
第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- H：ヘリポート（赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能）
- ：海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
- ：砂浜

上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- ●：ヘリポートを有する拠点
- ▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

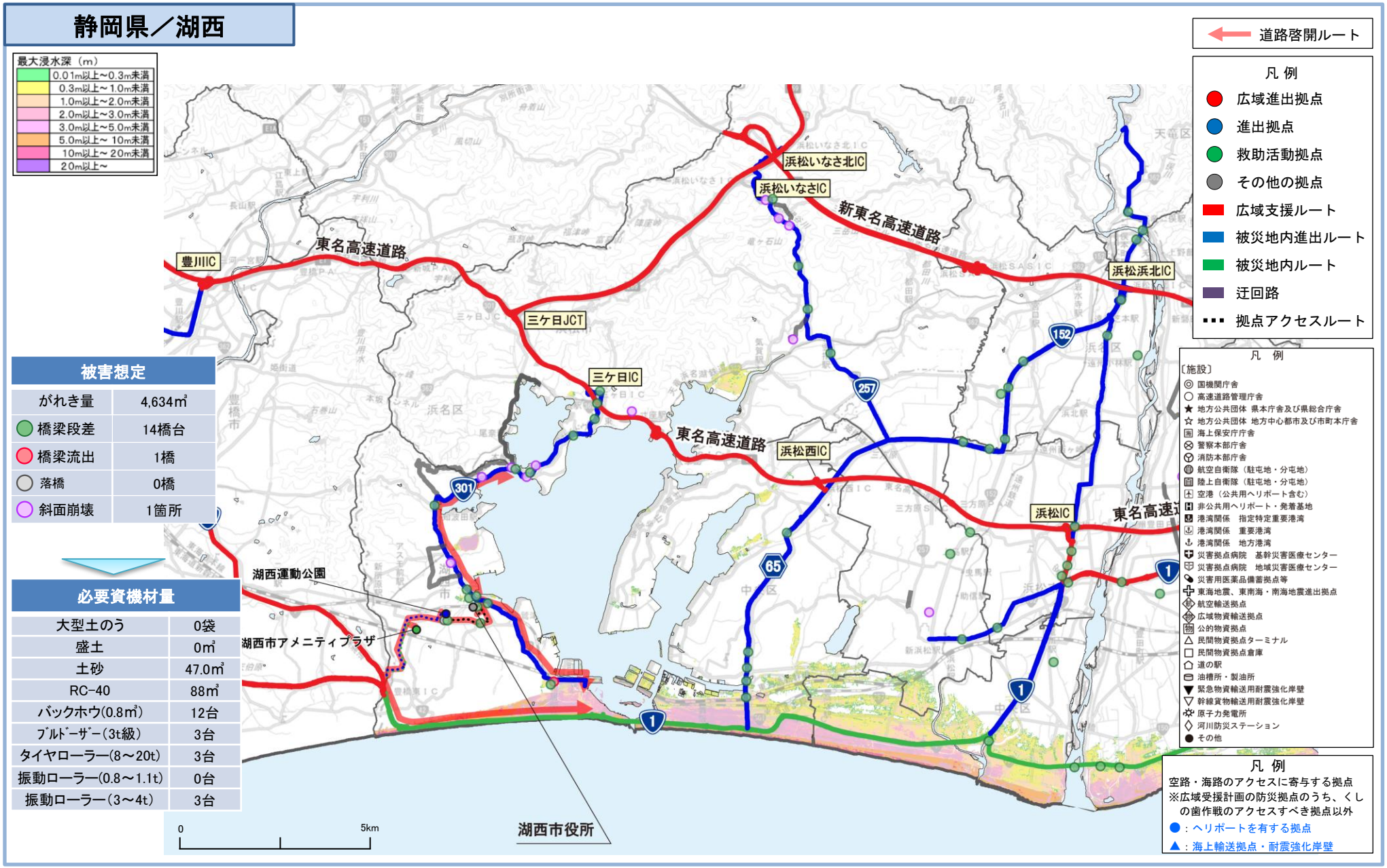
静岡県／興津



注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／湖西



被害想定

がれき量	4,634㎥
橋梁段差	14橋台
橋梁流出	1橋
落橋	0橋
斜面崩壊	1箇所

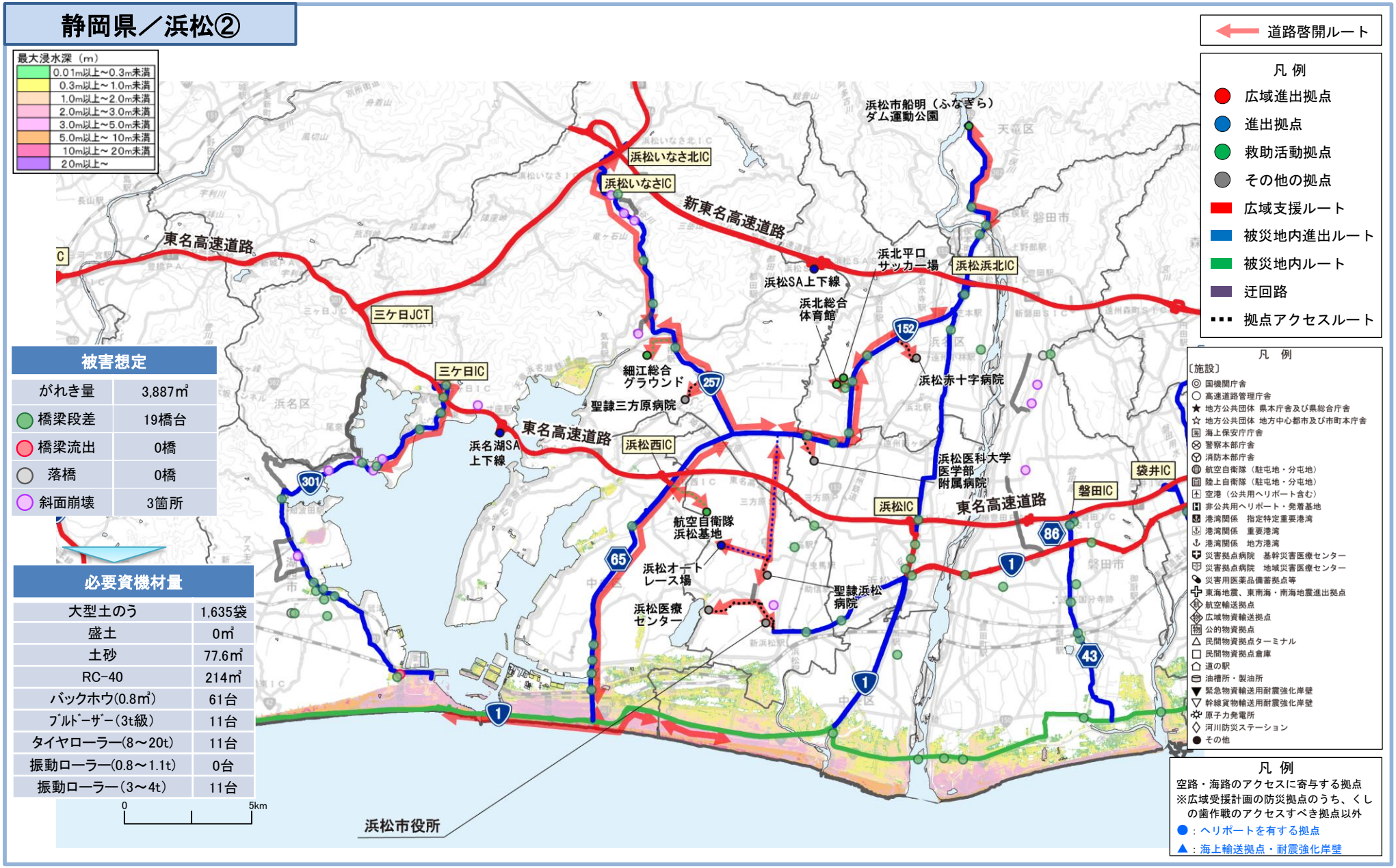
必要資機材量

大型土のう	0袋
盛土	0㎥
土砂	47.0㎥
RC-40	88㎥
バックホウ(0.8㎥)	12台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ(3t級)	3台
タイヤローラー(8～20t)	3台
振動ローラー(0.8～1.1t)	0台
振動ローラー(3～4t)	3台

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／浜松②



被害想定

がれき量	3,887㎥
橋梁段差	19橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	3箇所

必要資機材量

大型土のう	1,635袋
盛土	0㎥
土砂	77.6㎥
RC-40	214㎥
バックホウ(0.8㎥)	61台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ(3t級)	11台
タイヤローラー(8～20t)	11台
振動ローラー(0.8～1.1t)	0台
振動ローラー(3～4t)	11台

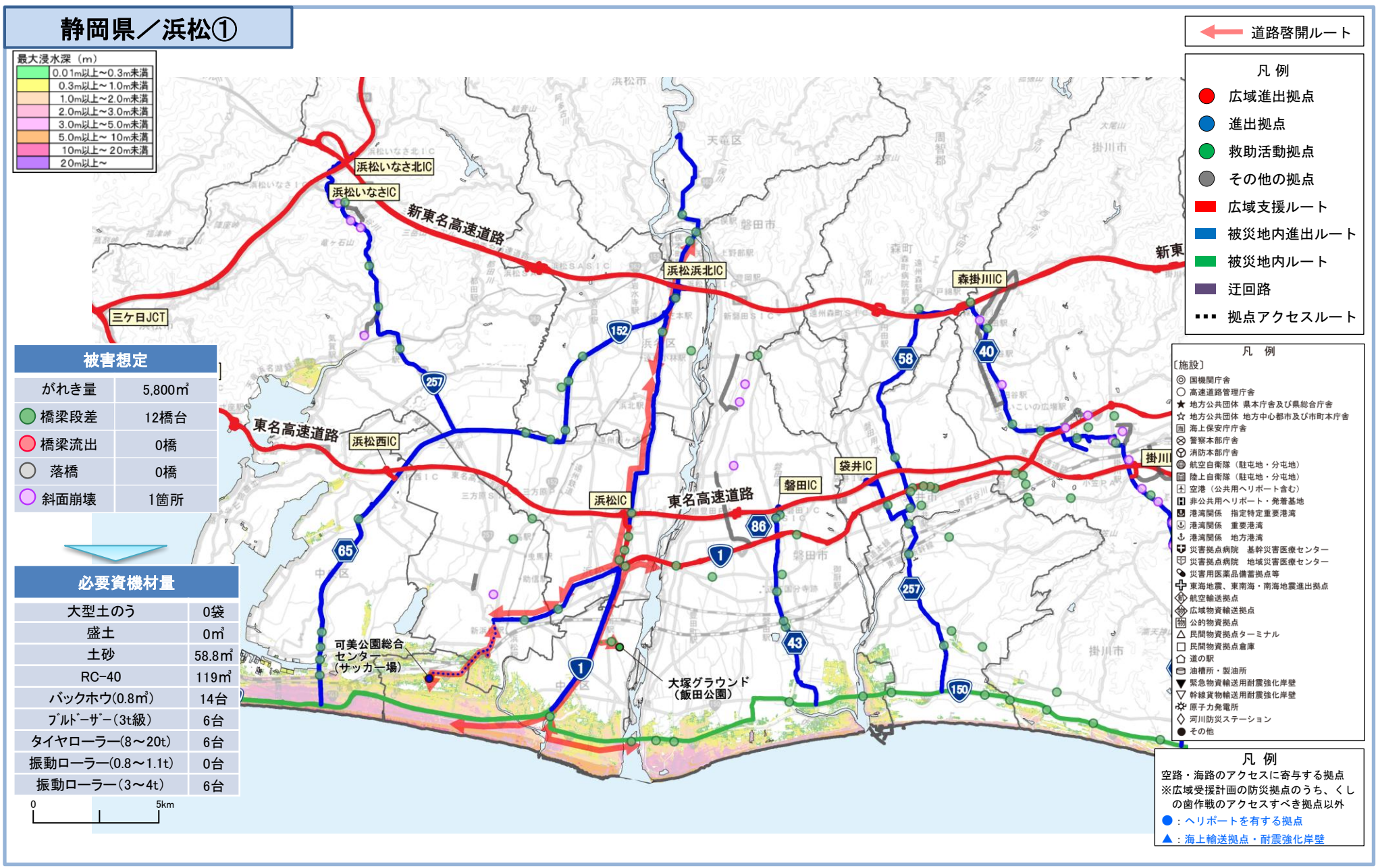
凡　例
〔施設〕
国機関庁舎
高速道路管理庁舎
地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
海上保安庁庁舎
警察本部庁舎
消防本部庁舎
航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
空港（公共用ヘリポート含む）
非公共用ヘリポート・発着基地
港湾関係　指定特定重要港湾
港湾関係　重要港湾
港湾関係　地方港湾
災害拠点病院　基幹災害医療センター
災害拠点病院　地域災害医療センター
災害用医薬品備蓄拠点等
東海地震、東南海・南海地震進出拠点
航空輸送拠点
広域物資輸送拠点
公的物資拠点
民間物資拠点ターミナル
民間物資拠点倉庫
道の駅
油槽所・製油所
緊急物資輸送用耐震強化岸壁
幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
原子力発電所
河川防災ステーション
その他

凡　例
空路・海路のアクセスに寄与する拠点
※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
●：ヘリポートを有する拠点
▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／浜松①



被害想定

がれき量	5,800㎥
橋梁段差	12橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	1箇所

必要資機材量

大型土のう	0袋
盛土	0㎥
土砂	58.8㎥
RC-40	119㎡
バックホウ(0.8㎥)	14台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ(3t級)	6台
タイヤローラー(8～20t)	6台
振動ローラー(0.8～1.1t)	0台
振動ローラー(3～4t)	6台

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／磐田



被害想定

がれき量	3,829㎥
橋梁段差	19橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

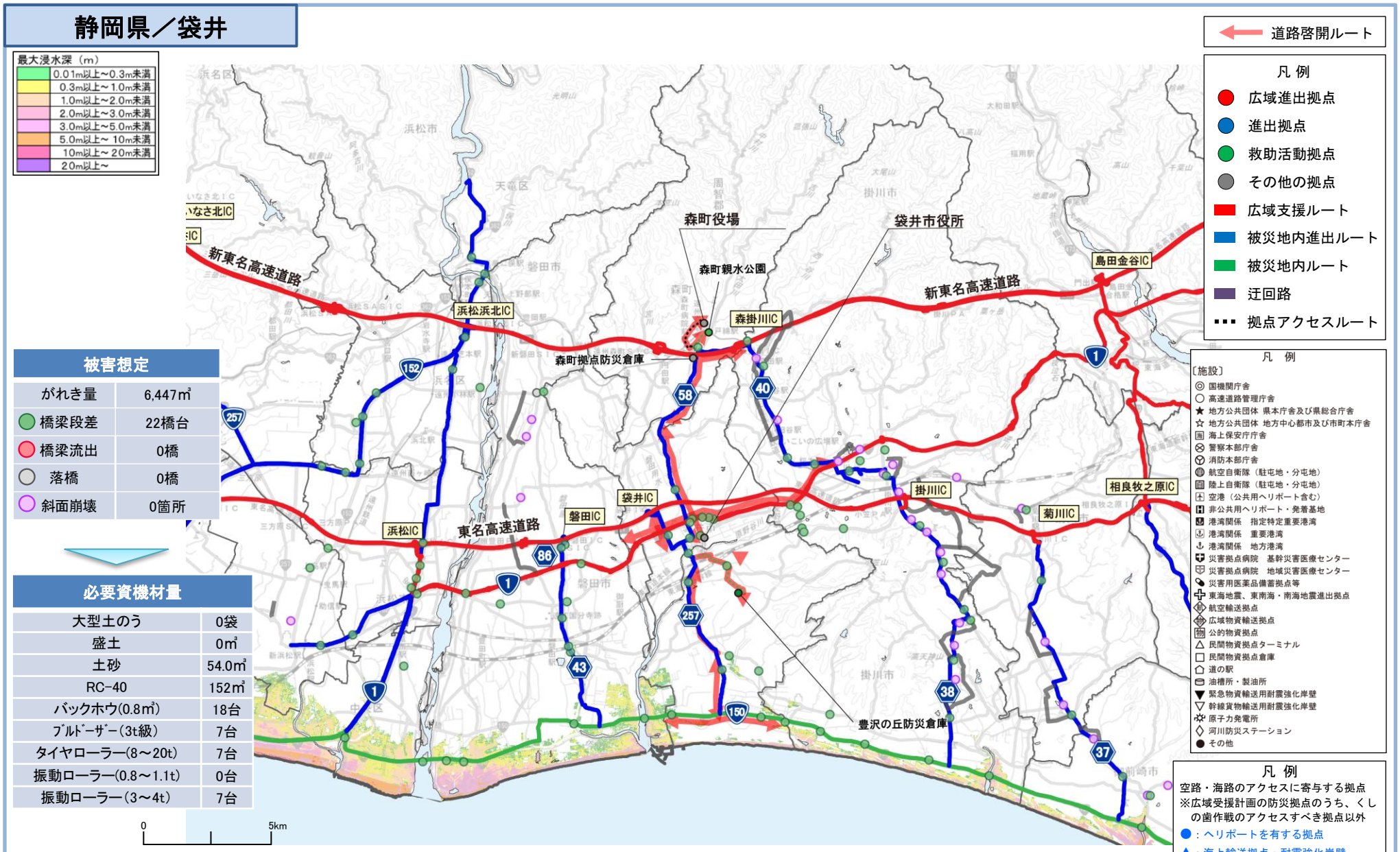
必要資機材量

大型土のう	0袋
盛土	0㎥
土砂	52.2㎥
RC-40	127㎥
バックホウ(0.8㎥)	17台
ブルドーザー(3t級)	7台
タイヤローラー(8～20t)	7台
振動ローラー(0.8～1.1t)	0台
振動ローラー(3～4t)	7台

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／袋井



被害想定

がれき量	6,447㎥
橋梁段差	22橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

必要資機材量

大型土のう	0袋
盛土	0㎥
土砂	54.0㎥
RC-40	152㎥
バックホウ(0.8㎥)	18台
ブルドーザー(3t級)	7台
タイヤローラー(8～20t)	7台
振動ローラー(0.8～1.1t)	0台
振動ローラー(3～4t)	7台

凡　例
〔施設〕
国機関庁舎
高速道路管理庁舎
地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
海上保安庁庁舎
警察本部庁舎
消防本部庁舎
航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
空港（公共用ヘリポート含む）
非公共用ヘリポート・発着基地
港湾関係　指定特定重要港湾
港湾関係　重要港湾
港湾関係　地方港湾
災害拠点病院　基幹災害医療センター
災害拠点病院　地域災害医療センター
災害用医薬品備蓄拠点等
東海地震、東南海・南海地震進出拠点
航空輸送拠点
広域物資輸送拠点
公的物資拠点
民間物資拠点ターミナル
民間物資拠点倉庫
道の駅
油槽所・製油所
緊急物資輸送用耐震強化岸壁
幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
原子力発電所
河川防災ステーション
その他

凡　例
空路・海路のアクセスに寄与する拠点
※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
●：ヘリポートを有する拠点
▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／掛川



被害想定

がれき量	4,600㎥
橋梁段差	15橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	6箇所

必要資機材量

大型土のう	210袋
盛土	0㎥
土砂	97.6㎥
RC-40	226㎥
バックホウ(0.8㎥)	18台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ(3t級)	9台
タイヤローラー(8～20t)	9台
振動ローラー(0.8～1.1t)	0台
振動ローラー(3～4t)	9台

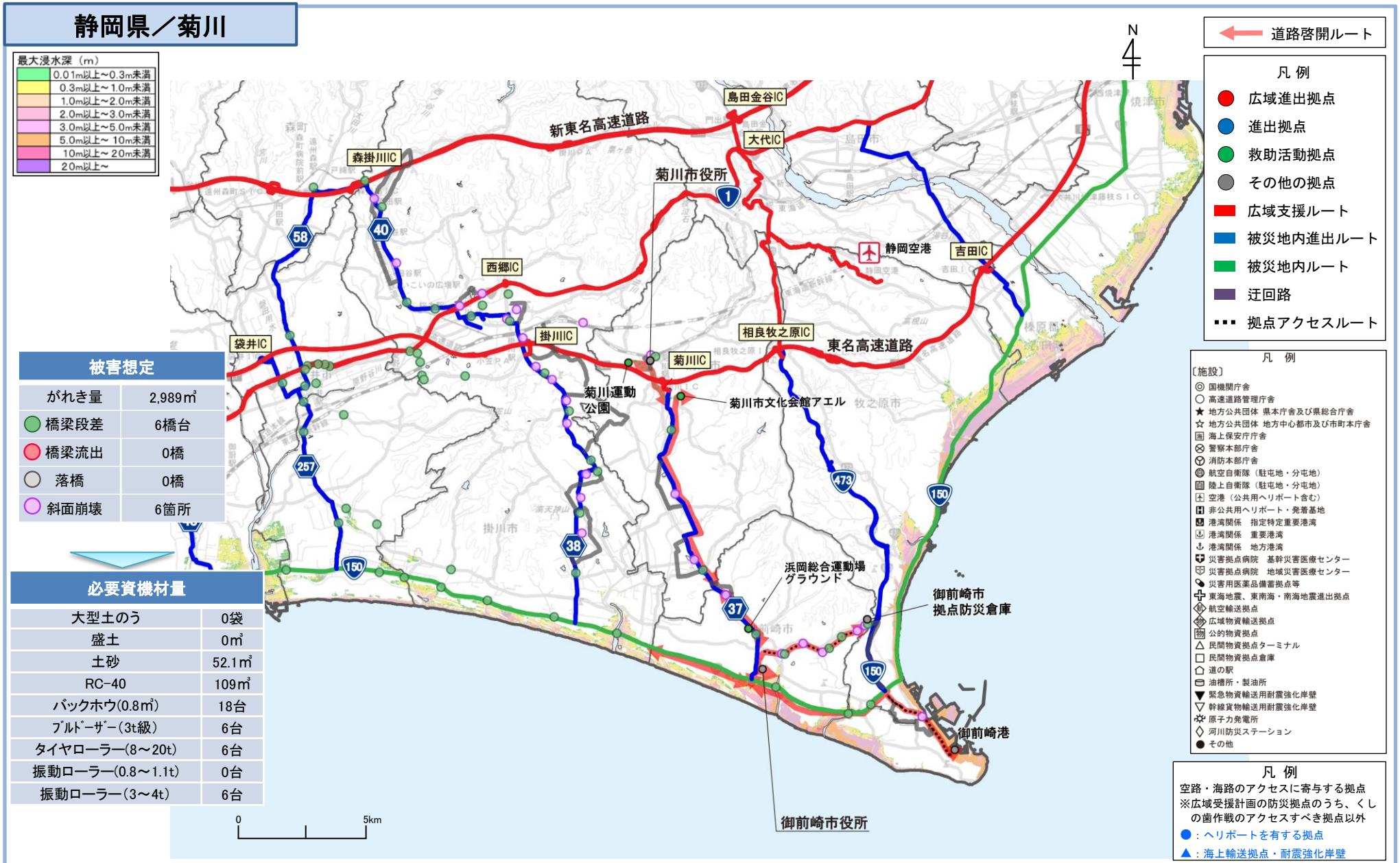
凡　例
〔施設〕
国機関庁舎
高速道路管理庁舎
地方公共団体　県本庁舎及び県総合庁舎
地方公共団体　地方中心都市及び市町本庁舎
海上保安庁庁舎
警察本部庁舎
消防本部庁舎
航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
空港（公共用ヘリポート含む）
非公共用ヘリポート・発着基地
港湾関係　指定特定重要港湾
港湾関係　重要港湾
港湾関係　地方港湾
災害拠点病院　基幹災害医療センター
災害拠点病院　地域災害医療センター
災害用医薬品備蓄拠点等
東海地震、東南海・南海地震進出拠点
航空輸送拠点
広域物資輸送拠点
公的物資拠点
民間物資拠点ターミナル
民間物資拠点倉庫
道の駅
油槽所・製油所
緊急物資輸送用耐震強化岸壁
幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
原子力発電所
河川防災ステーション
その他

凡　例
空路・海路のアクセスに寄与する拠点
※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
●：ヘリポートを有する拠点
▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

静岡県／菊川



被害想定

がれき量	2,989㎥
橋梁段差	6橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	6箇所

必要資機材量

大型土のう	0袋
盛土	0㎥
土砂	52.1㎥
RC-40	109㎥
バックホウ(0.8㎥)	18台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ(3t級)	6台
タイヤローラー(8～20t)	6台
振動ローラー(0.8～1.1t)	0台
振動ローラー(3～4t)	6台

凡　例
〔施設〕
◎ 国機関庁舎
○ 高速道路管理庁舎
★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
海上保安庁庁舎
警察本部庁舎
消防本部庁舎
航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
空港（公共用ヘリポート含む）
非公共用ヘリポート・発着基地
港湾関係　指定特定重要港湾
港湾関係　重要港湾
港湾関係　地方港湾
災害拠点病院　基幹災害医療センター
災害拠点病院　地域災害医療センター
災害用医薬品備蓄拠点等
東海地震、東南海・南海地震進出拠点
航空輸送拠点
広域物資輸送拠点
公的物資拠点
民間物資拠点ターミナル
民間物資拠点倉庫
道の駅
油槽所・製油所
緊急物資輸送用耐震強化岸壁
幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
原子力発電所
河川防災ステーション
その他

凡　例
空路・海路のアクセスに寄与する拠点
※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
● ：ヘリポートを有する拠点
▲ ：海上輸送拠点・耐震強化岸壁

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／田原



被害想定

がれき量	5,727㎥
橋梁段差	38橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	3箇所

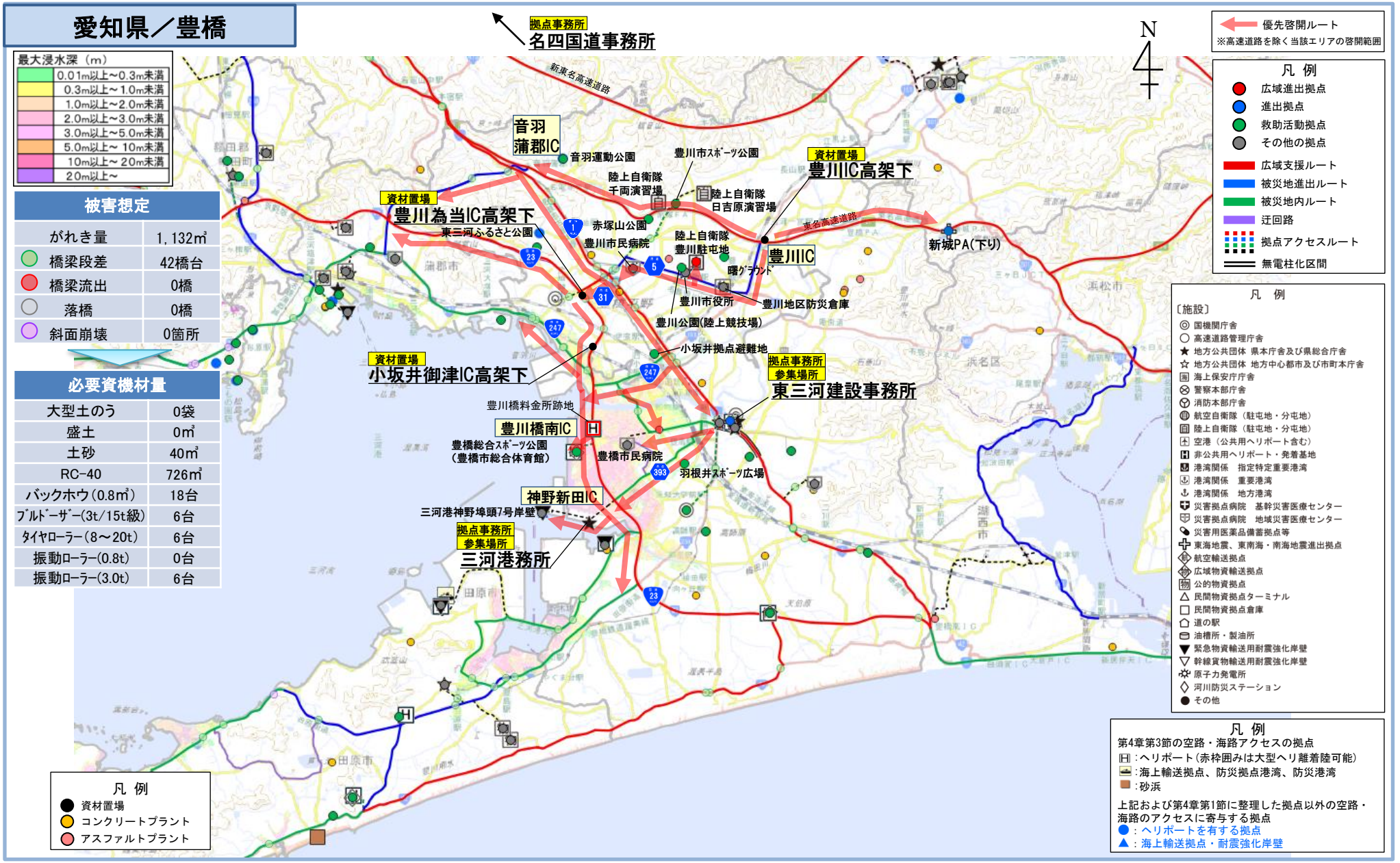
必要資機材量

大型土のう	150袋
盛土	0㎥
土砂	13㎥
RC-40	208㎥
バックホウ(0.8㎥)	35台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ(3t/15t級)	2台
ﾀｲﾔﾛｰﾗｰ(8～20t)	2台
振動ﾛｰﾗｰ(0.8t)	0台
振動ﾛｰﾗｰ(3.0t)	2台

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／豊橋



注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／蒲郡



注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

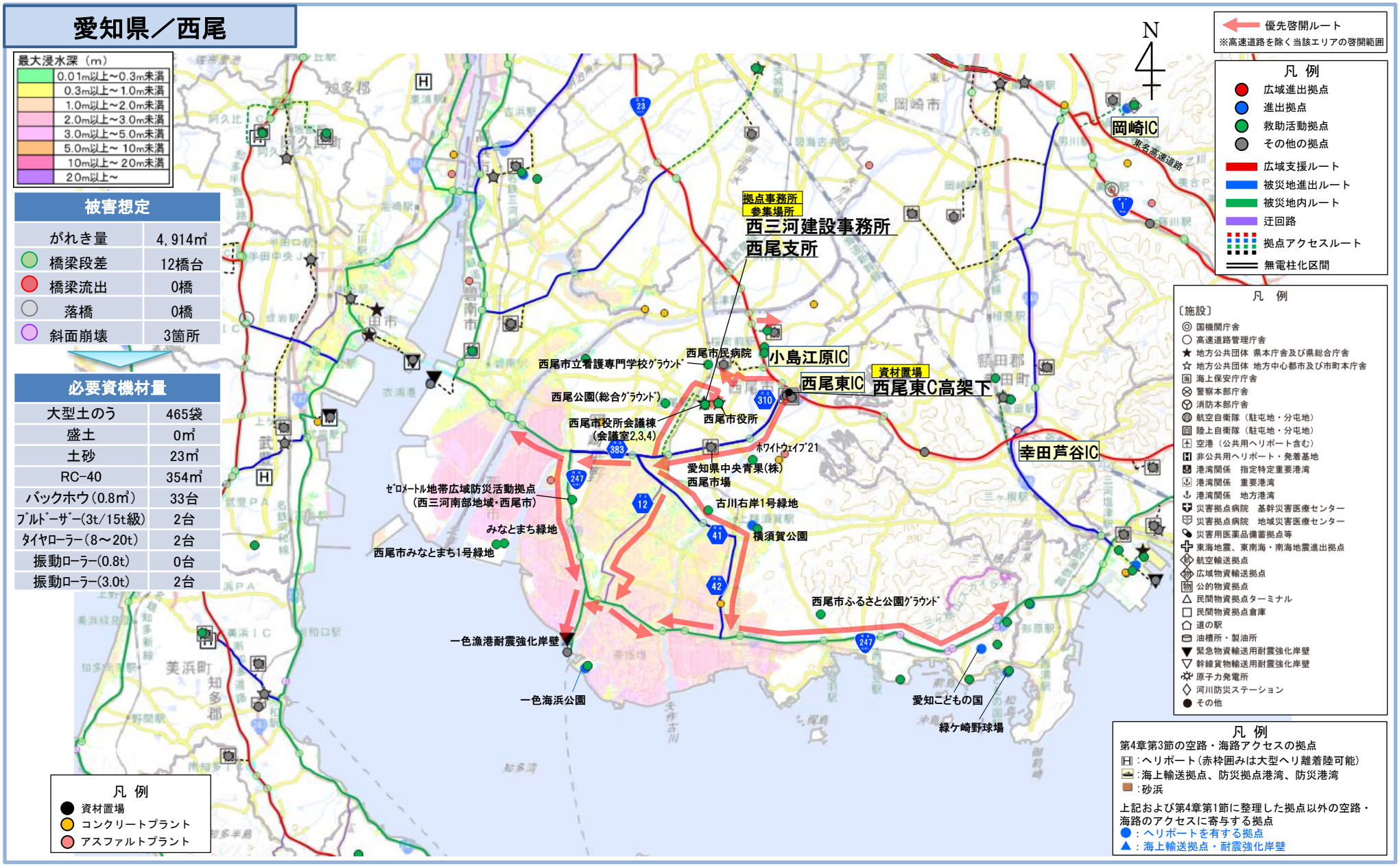
愛知県／幸田



注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／西尾



注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

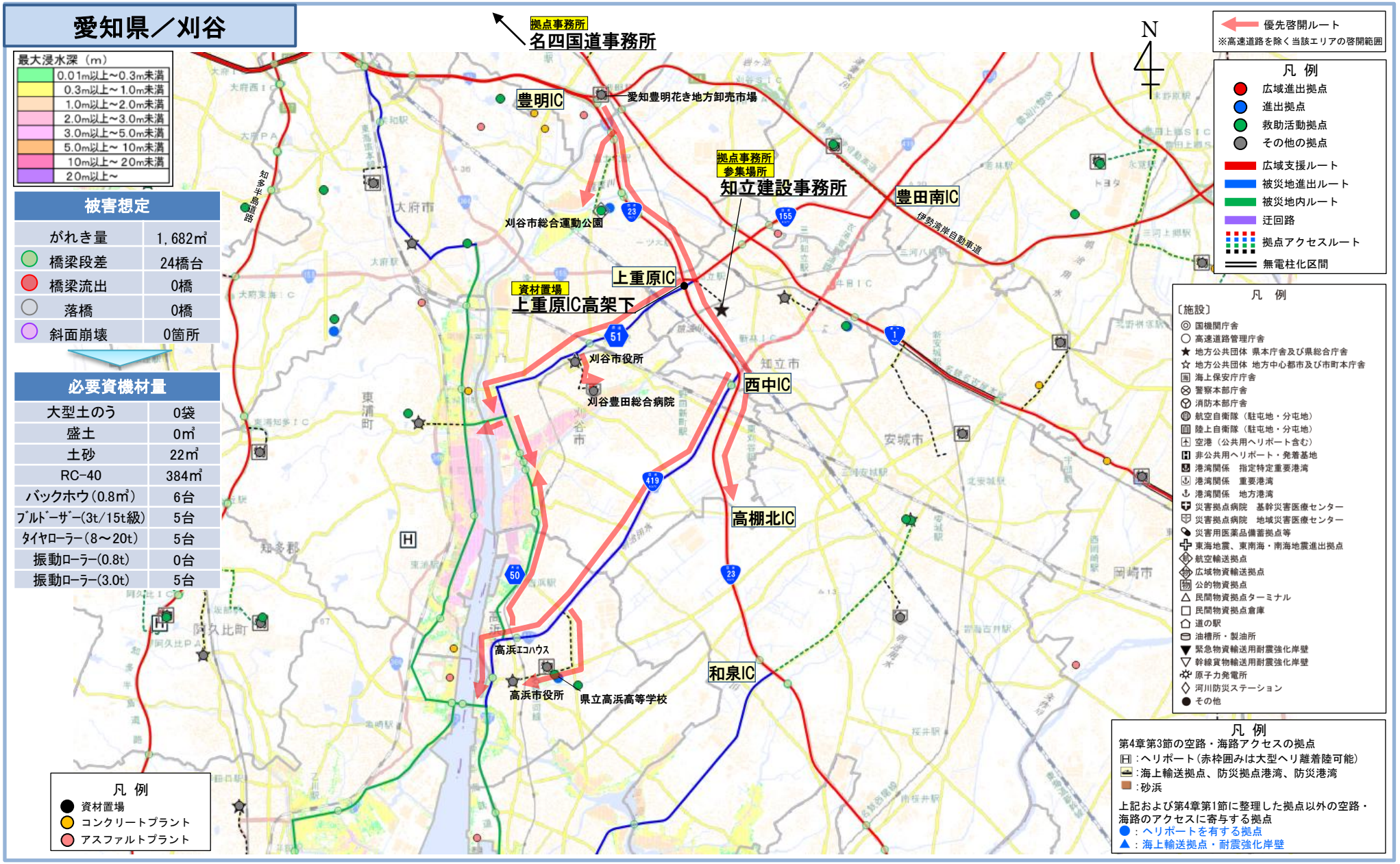
愛知県／碧南



注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／刈谷



最大浸水深（m）

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

被害想定

がれき量	1,682㎡
橋梁段差	24橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

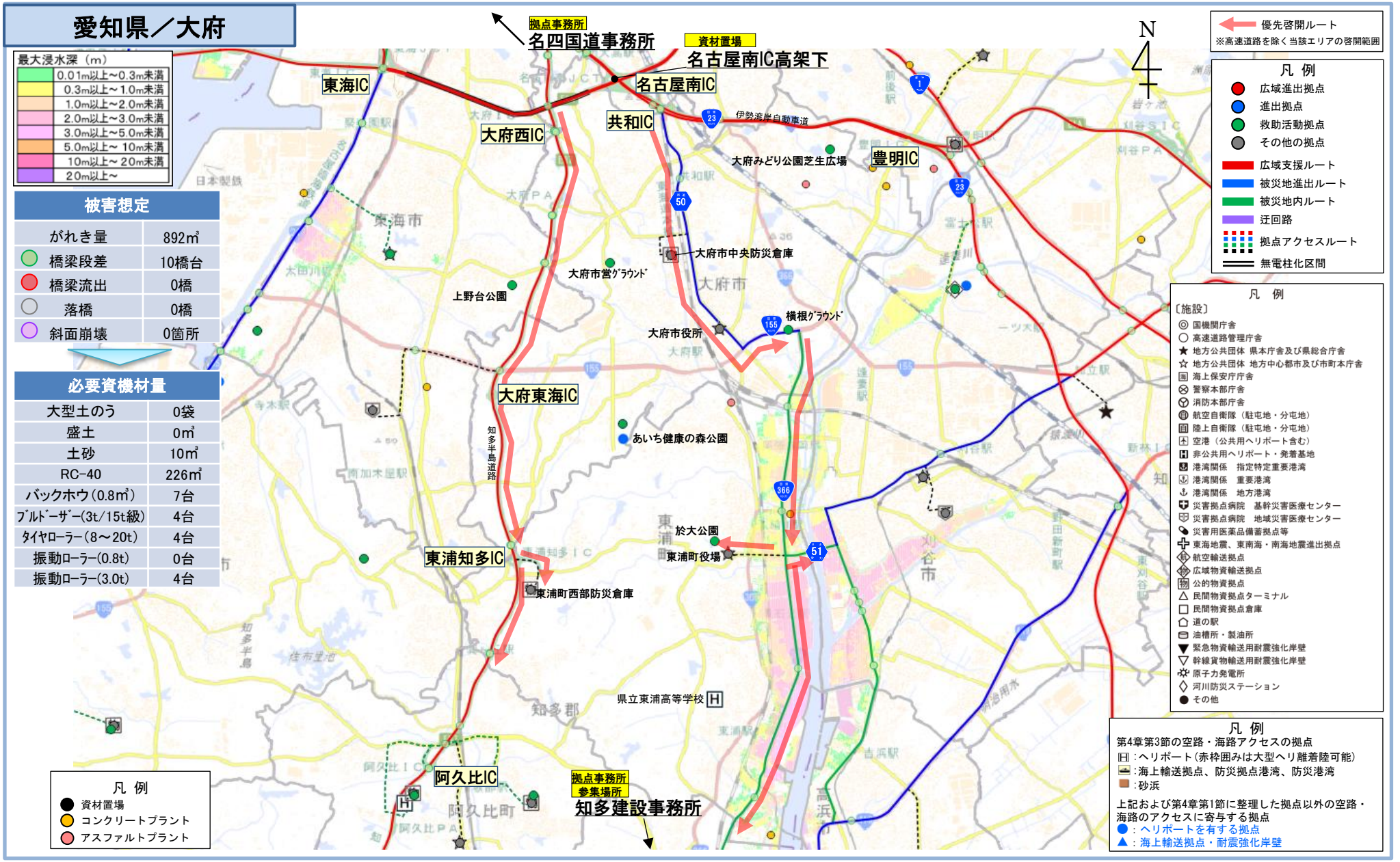
必要資機材量

大型土のう	0袋
盛土	0㎥
土砂	22㎥
RC-40	384㎥
バックホウ（0.8㎥）	6台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ（3t/15t級）	5台
ﾀｲﾔﾛｰﾗｰ（8～20t）	5台
振動ﾛｰﾗｰ（0.8t）	0台
振動ﾛｰﾗｰ（3.0t）	5台

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／大府



最大浸水深（m）

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

被害想定

がれき量	892㎥
橋梁段差	10橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

必要資機材量

大型土のう	0袋
盛土	0㎥
土砂	10㎥
RC-40	226㎥
バックホウ（0.8㎥）	7台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ（3t/15t級）	4台
ﾀｲﾔﾛｰﾗｰ（8～20t）	4台
振動ﾛｰﾗｰ（0.8t）	0台
振動ﾛｰﾗｰ（3.0t）	4台

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／半田



注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／武豊



最大浸水深（m）

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

被害想定

がれき量	704㎥
橋梁段差	2橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

必要資機材量

大型土のう	0袋
盛土	0㎥
土砂	5㎥
RC-40	138㎥
バックホウ（0.8㎥）	8台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ（3t/15t級）	2台
ﾀｲﾔﾛｰﾗｰ（8～20t）	2台
振動ﾛｰﾗｰ（0.8t）	0台
振動ﾛｰﾗｰ（3.0t）	2台

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／美浜



最大浸水深（m）

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

被害想定

がれき量	623㎥
橋梁段差	4橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	1箇所

必要資機材量

大型土のう	30袋
盛土	0㎥
土砂	5㎥
RC-40	88㎥
バックホウ（0.8㎥）	13台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ（3t/15t級）	2台
ﾀｲﾔﾛｰﾗｰ（8～20t）	2台
振動ﾛｰﾗｰ（0.8t）	0台
振動ﾛｰﾗｰ（3.0t）	2台

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／南知多



被害想定

がれき量	4,199㎥
橋梁段差	6橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	7箇所

必要資機材量

大型土のう	2,700袋
盛土	0㎥
土砂	2㎥
RC-40	62㎥
バックホウ（0.8㎥）	20台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ（3t/15t級）	2台
ﾀｲﾔﾛｰﾗｰ（8～20t）	2台
振動ﾛｰﾗｰ（0.8t）	0台
振動ﾛｰﾗｰ（3.0t）	2台

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／常滑

最大浸水深（m）

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

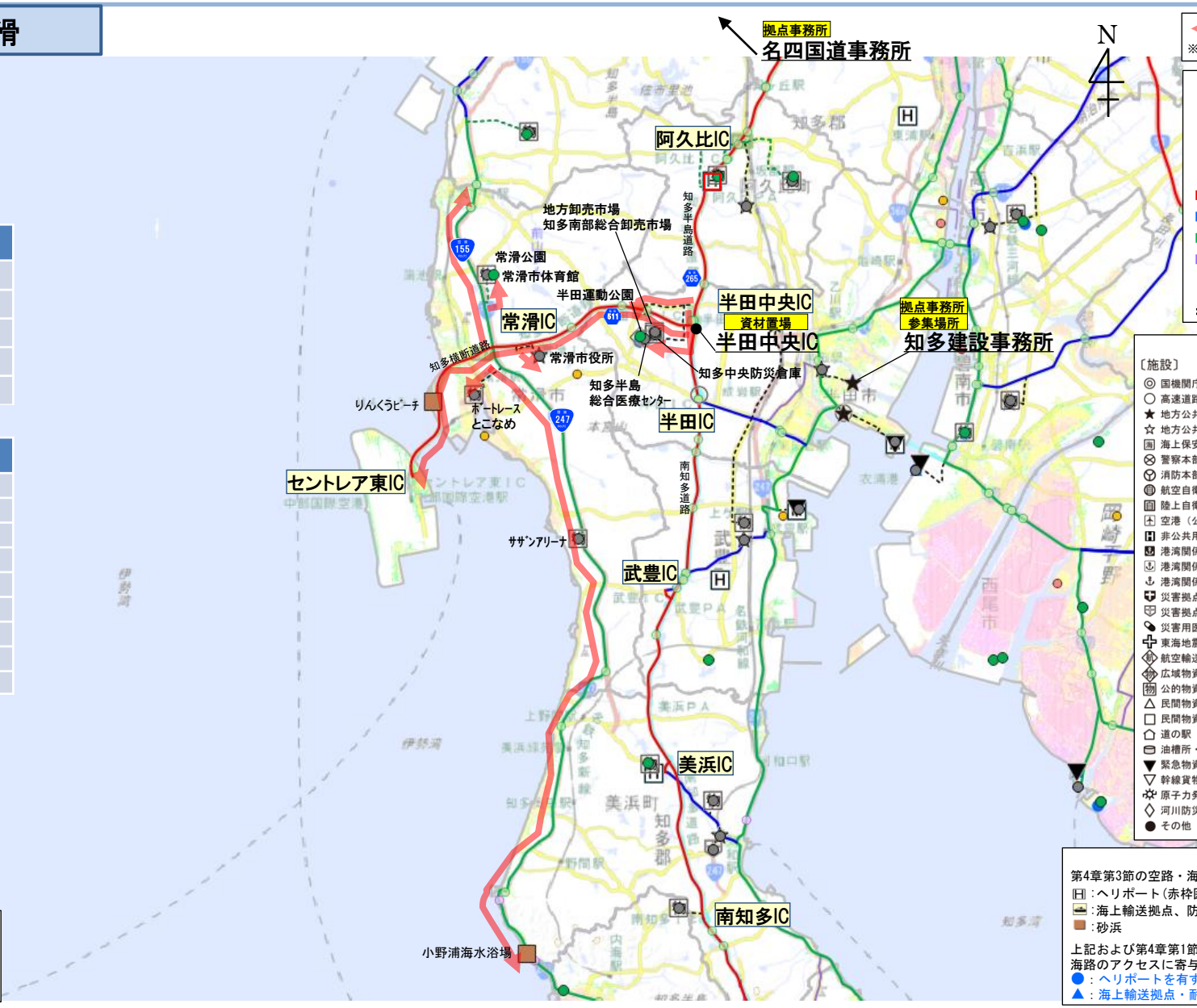
被害想定

がれき量	989㎥
橋梁段差	8橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	1箇所

必要資機材量

大型土のう	390袋
盛土	0㎥
土砂	6㎥
RC-40	108㎥
バックホウ（0.8㎥）	5台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ(3t/15t級)	2台
ﾀｲﾔﾛｰﾗｰ（8～20t）	2台
振動ﾛｰﾗｰ(0.8t)	0台
振動ﾛｰﾗｰ(3.0t)	2台

凡 例
- 資材置場
- コンクリートプラント
- アスファルトプラント



凡 例
- 優先啓開ルート
  ※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲
- 広域進出拠点
- 進出拠点
- 救助活動拠点
- その他の拠点
- 広域支援ルート
- 被災地進出ルート
- 被災地内ルート
- 迂回路
- 拠点アクセスルート
- 無電柱化区間

凡 例
〔施設〕
- 国機関庁舎
- 高速道路管理庁舎
- 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
- 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
- 海上保安庁庁舎
- 警察本部庁舎
- 消防本部庁舎
- 航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 空港（公共用ヘリポート含む）
- 非公共用ヘリポート・発着基地
- 港湾関係　指定特定重要港湾
- 港湾関係　重要港湾
- 港湾関係　地方港湾
- 災害拠点病院　基幹災害医療センター
- 災害拠点病院　地域災害医療センター
- 災害用医薬品備蓄拠点等
- 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
- 航空輸送拠点
- 広域物資輸送拠点
- 公的物資拠点
- 民間物資拠点ターミナル
- 民間物資拠点倉庫
- 道の駅
- 油槽所・製油所
- 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
- 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
- 原子力発電所
- 河川防災ステーション
- その他

凡 例
第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ：ヘリポート（赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能）
- ：海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
- ：砂浜

上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- ●：ヘリポートを有する拠点
- ▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／知多



注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／名古屋沿岸部



注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／弥富



被害想定（海部）

がれき量	0㎥
橋梁段差	0橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

必要資機材量（海部）

大型土のう	0袋
盛土	0㎥
土砂	39㎥
RC-40	580㎥
バックホウ（0.8㎥）	13台
ブルドーザー（3t/15t級）	4台
タイヤローラー（8～20t）	4台
振動ローラー（0.8t）	0台
振動ローラー（3.0t）	4台

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／一宮



注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／江南



注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

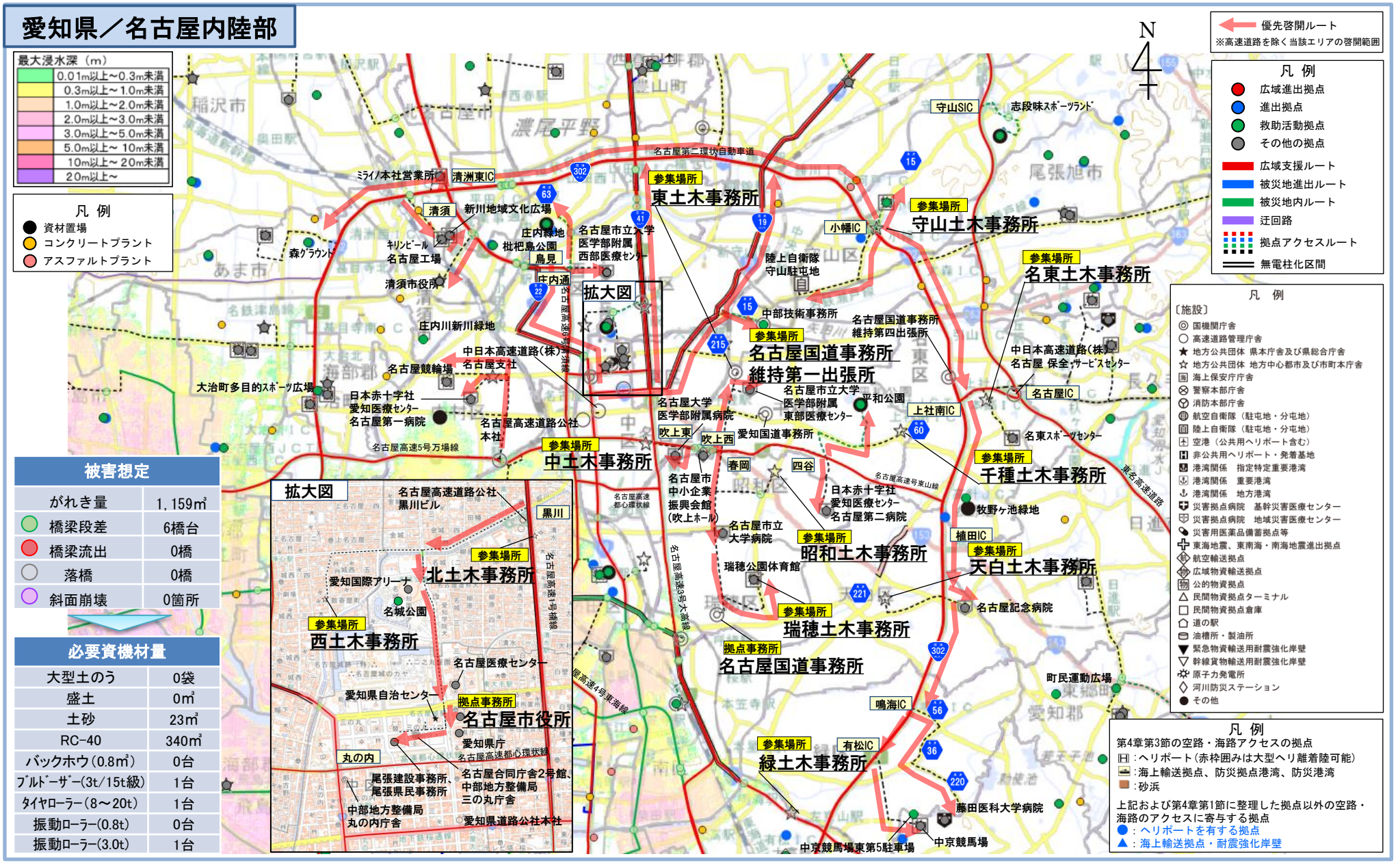
愛知県／春日井



注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

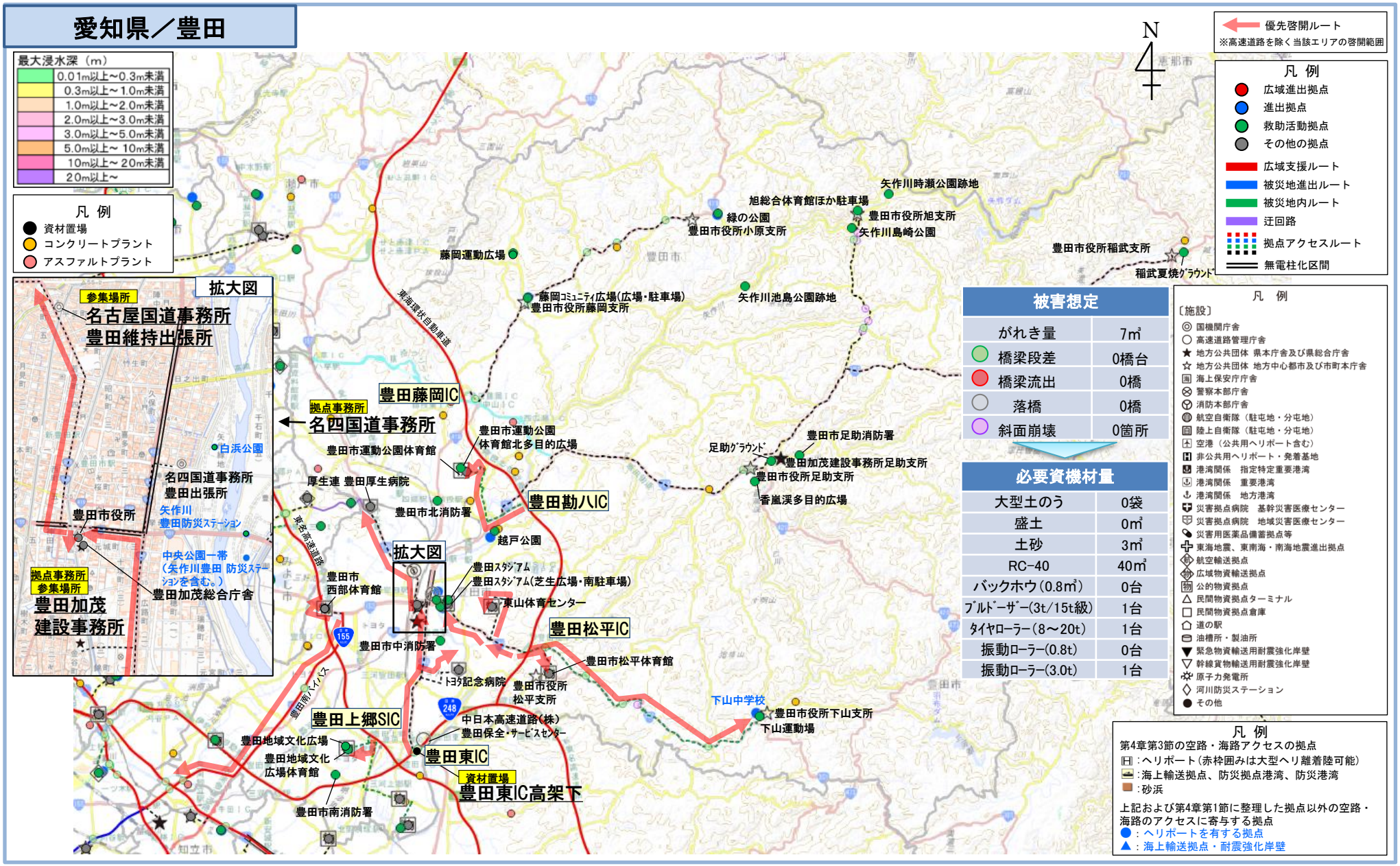
愛知県／名古屋内陸部



注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／豊田



被害想定

がれき量	7㎥
橋梁段差	0橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

必要資機材量

大型土のう	0袋
盛土	0㎥
土砂	3㎥
RC-40	40㎥
バックホウ（0.8㎥）	0台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ(3t/15t級)	1台
ﾀｲﾔﾛｰﾗｰ（8～20t）	1台
振動ﾛｰﾗｰ(0.8t)	0台
振動ﾛｰﾗｰ(3.0t)	1台

凡　例

〔施設〕

- ◎ 国機関庁舎
- ○ 高速道路管理庁舎
- ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
- ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
- 海上保安庁庁舎
- ⊗ 警察本部庁舎
- 消防本部庁舎
- 航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 空港（公共用ヘリポート含む）
- 非公共用ヘリポート・発着基地
- 港湾関係　指定特定重要港湾
- 港湾関係　重要港湾
- 港湾関係　地方港湾
- 災害拠点病院　基幹災害医療センター
- 災害拠点病院　地域災害医療センター
- 災害用医薬品備蓄拠点等
- 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
- 航空輸送拠点
- 広域物資輸送拠点
- 公的物資拠点
- △ 民間物資拠点ターミナル
- □ 民間物資拠点倉庫
- 道の駅
- 油槽所・製油所
- ▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
- ▽ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
- 原子力発電所
- ◇ 河川防災ステーション
- ● その他

凡　例

第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点

- ：ヘリポート（赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能）
- ：海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
- ：砂浜

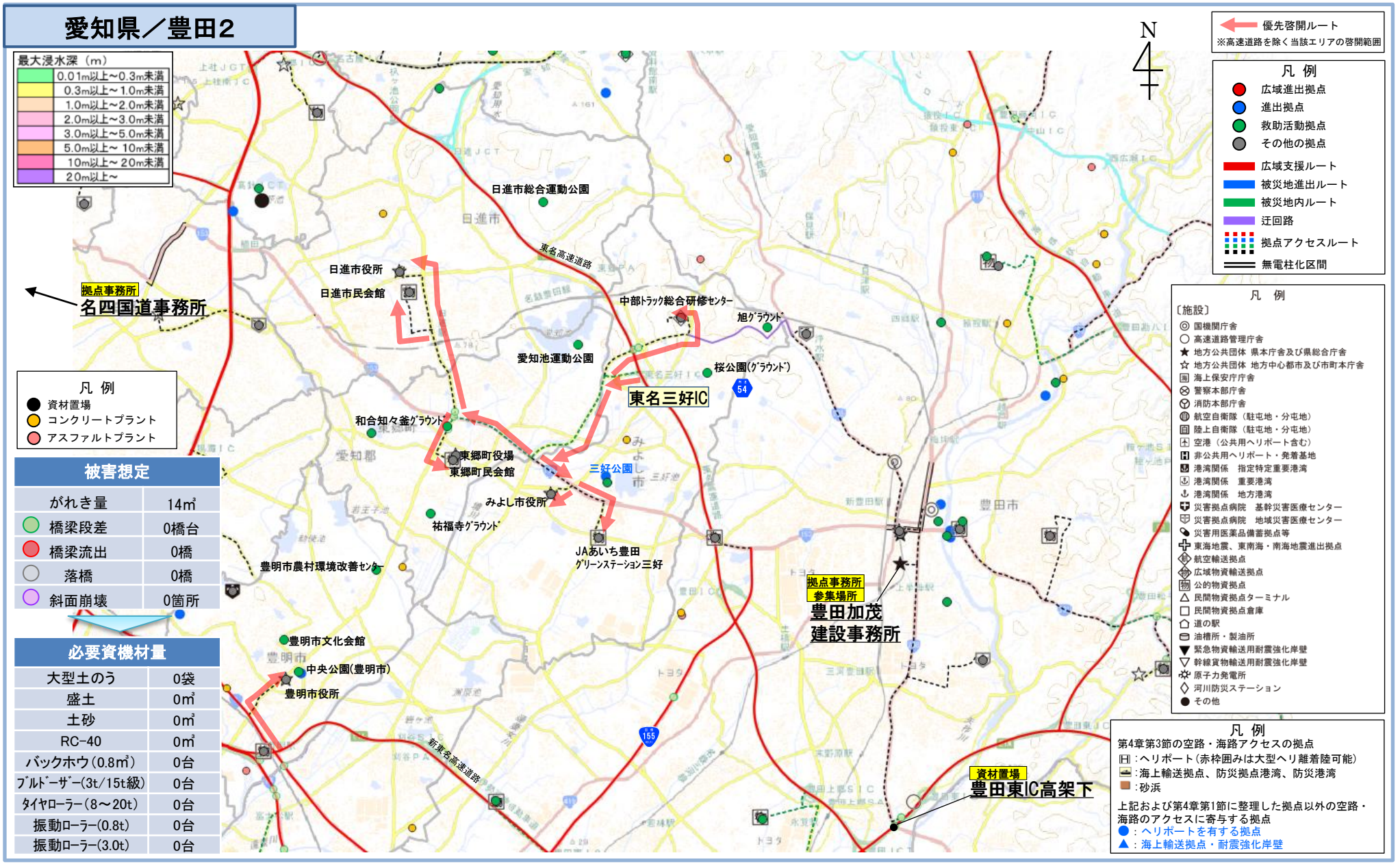
上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点

- ●：ヘリポートを有する拠点
- ▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／豊田2



被害想定

がれき量	14㎥
橋梁段差	0橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

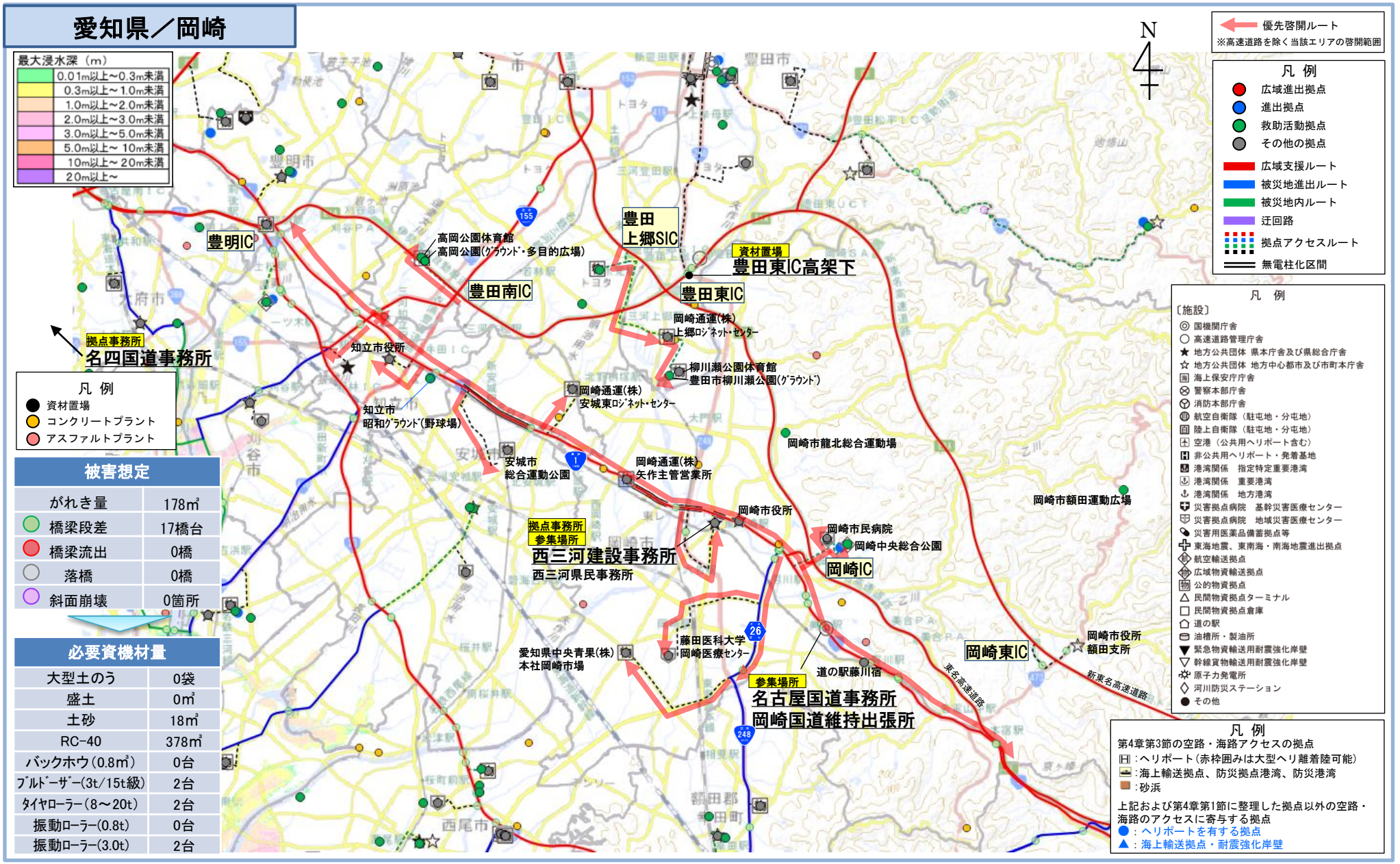
必要資機材量

大型土のう	0袋
盛土	0㎥
土砂	0㎥
RC-40	0㎥
バックホウ（0.8㎥）	0台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ（3t/15t級）	0台
ﾀｲﾔﾛｰﾗｰ（8～20t）	0台
振動ﾛｰﾗｰ（0.8t）	0台
振動ﾛｰﾗｰ（3.0t）	0台

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

愛知県／岡崎



被害想定

がれき量	178㎥
橋梁段差	17橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

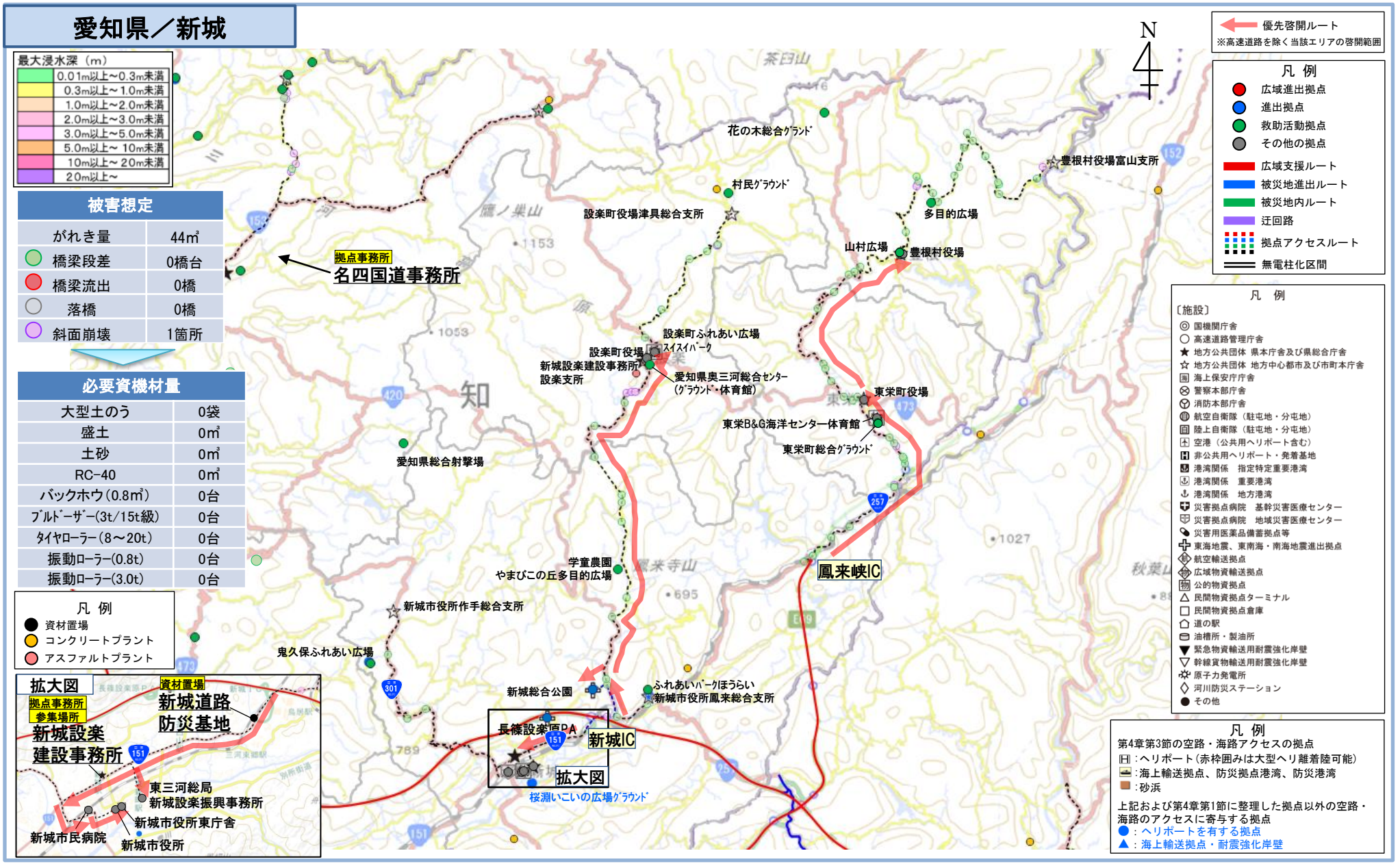
必要資機材量

大型土のう	0袋
盛土	0㎥
土砂	18㎥
RC-40	378㎥
バックホウ(0.8㎥)	0台
ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ(3t/15t級)	2台
ﾀｲﾔﾛｰﾗｰ(8～20t)	2台
振動ﾛｰﾗｰ(0.8t)	0台
振動ﾛｰﾗｰ(3.0t)	2台

注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

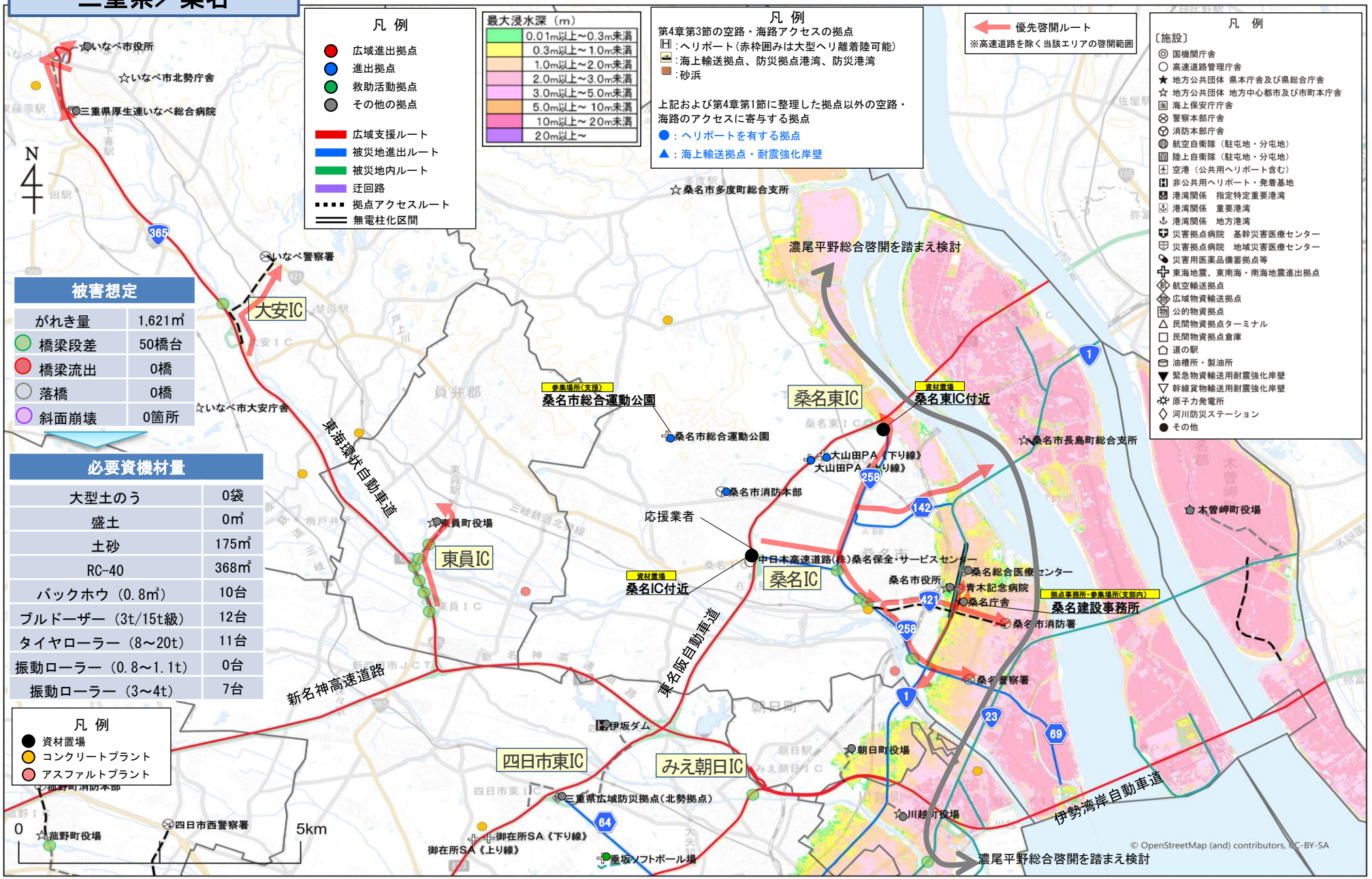
愛知県／新城



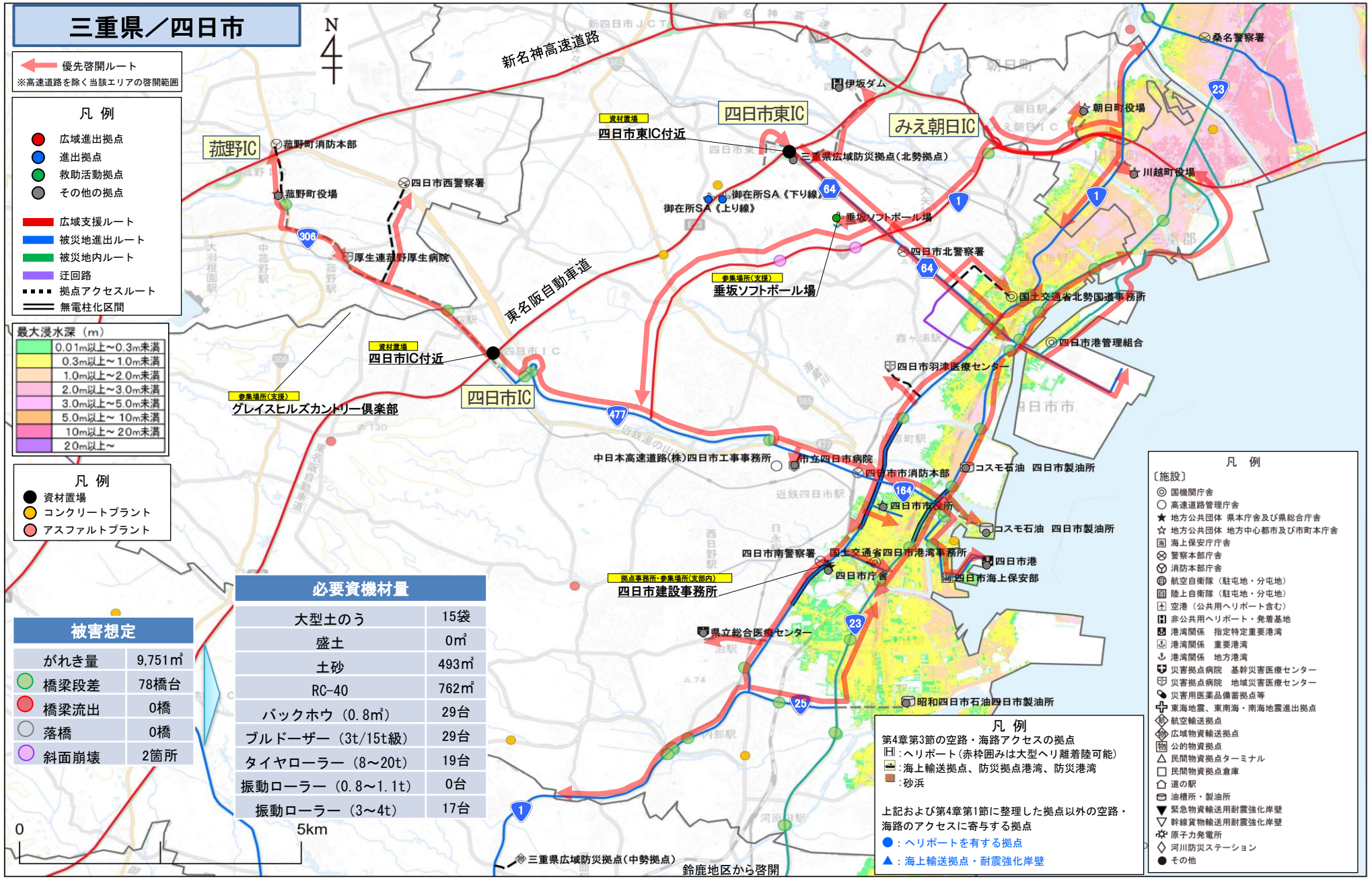
注）被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

中部道路啓開計画　具体計画図

三重県／桑名



中部道路啓開計画　具体計画図



中部道路啓開計画　具体計画図

三重県／鈴鹿

優先啓開ルート
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

被害想定

がれき量	2,475㎥
橋梁段差	44橋台
橋梁流出	0橋
落橋	1橋
斜面崩壊	0箇所

必要資機材量

大型土のう	0袋
盛土	0㎥
土砂	315㎥
RC-40	488㎡
バックホウ（0.8㎥）	17台
ブルドーザー（3t/15t級）	10台
タイヤローラー（8～20t）	9台
振動ローラー（0.8～1.1t）	0台
振動ローラー（3～4t）	7台

凡　例
〔施設〕
◎ 国機関庁舎
○ 高速道路管理庁舎
★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
海上保安庁庁舎
⊗ 警察本部庁舎
消防本部庁舎
航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
空港（公共用ヘリポート含む）
非公共用ヘリポート・発着基地
港湾関係　指定特定重要港湾
港湾関係　重要港湾
港湾関係　地方港湾
災害拠点病院　基幹災害医療センター
災害拠点病院　地域災害医療センター
災害用医薬品備蓄拠点等
東海地震、東南海・南海地震進出拠点
航空輸送拠点
広域物資輸送拠点
公的物資拠点
民間物資拠点ターミナル
民間物資拠点倉庫
道の駅
油槽所・製油所
緊急物資輸送用耐震強化岸壁
幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
原子力発電所
河川防災ステーション
その他

凡　例
第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
H：ヘリポート（赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能）
：海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
：砂浜

上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
●：ヘリポートを有する拠点
▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁

凡　例
資材置場
コンクリートプラント
アスファルトプラント

最大浸水深（m）

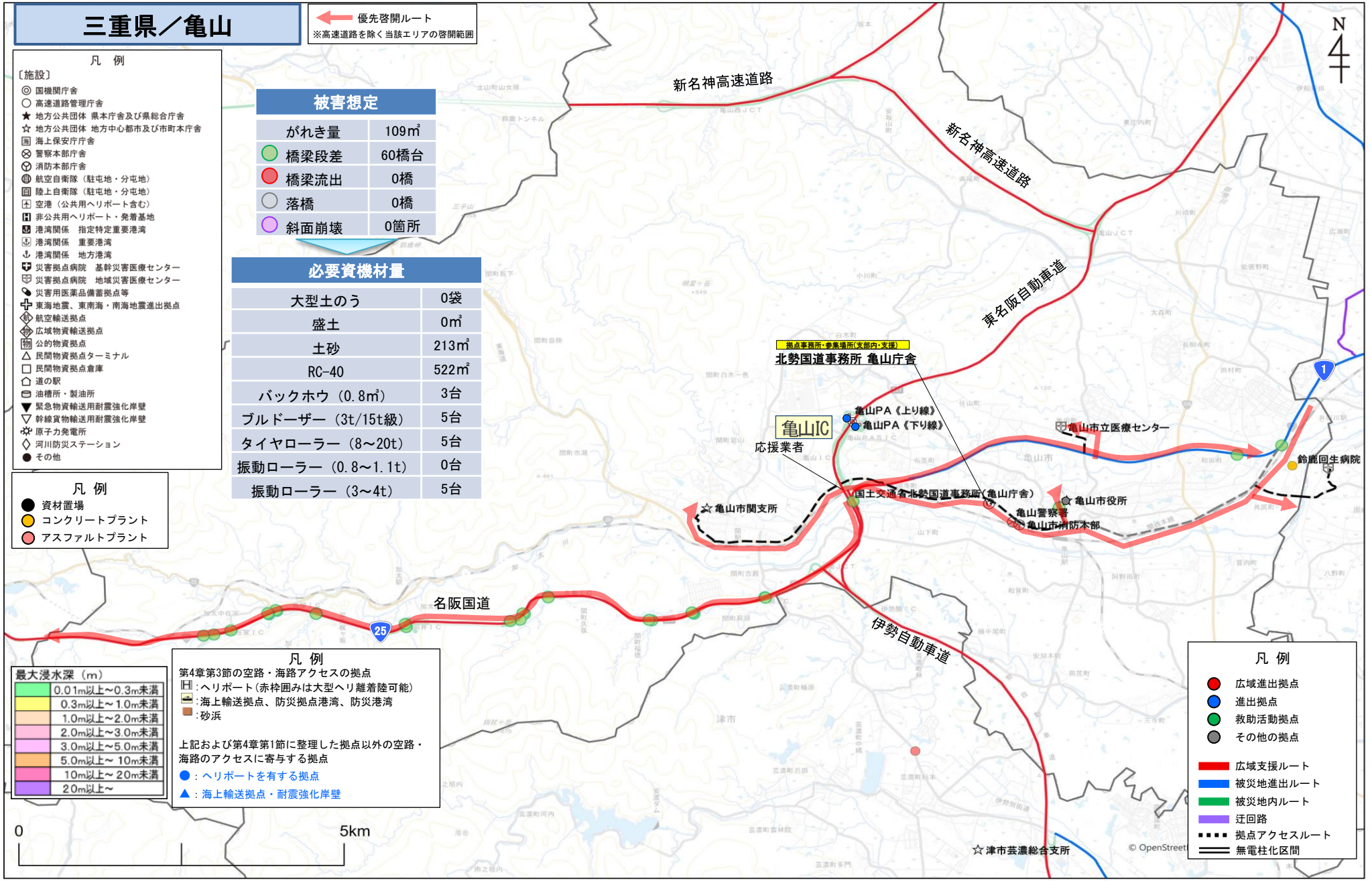
	0.01m以上～0.3m未満
	0.3m以上～1.0m未満
	1.0m以上～2.0m未満
	2.0m以上～3.0m未満
	3.0m以上～5.0m未満
	5.0m以上～10m未満
	10m以上～20m未満
	20m以上～

凡　例
広域進出拠点
進出拠点
救助活動拠点
その他の拠点
広域支援ルート
被災地進出ルート
被災地内ルート
迂回路
拠点アクセスルート
無電柱化区間

N
0　5km

資材置場 鈴鹿IC付近
鈴鹿IC
東名阪自動車道
参集場所(支援) 広域防災拠点（中勢拠点）
三重県広域防災拠点（中勢拠点）
資材置場 鈴鹿市河川防災センター
拠点事務所・参集場所(支部内) 鈴鹿建設事務所
四日市庁舎
県立総合医療センター
鈴鹿市役所
鈴鹿庁舎
鈴鹿市消防本部
三重県厚生連鈴鹿中央総合病院
鈴鹿警察署
三重県広域防災拠点（中勢拠点サブ）
鈴鹿市立御座池公
亀山PA《上り線》
亀山PA《下り線》
亀山IC
亀山市立医療センター
鈴鹿回生病院
国土交通省北勢国道事務所（亀山庁舎）
亀山市役所
亀山市消防本部
亀山警察署
名阪国道
鈴鹿サーキット
© OpenStreetMap

中部道路啓開計画　具体計画図



中部道路啓開計画　具体計画図

三重県／津1

凡　例
〔施設〕
◎ 国機関庁舎
○ 高速道路管理庁舎
★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
海上保安庁庁舎
警察本部庁舎
消防本部庁舎
航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
空港（公共用ヘリポート含む）
非公共用ヘリポート・発着基地
港湾関係　指定特定重要港湾
港湾関係　重要港湾
港湾関係　地方港湾
災害拠点病院　基幹災害医療センター
災害拠点病院　地域災害医療センター
災害用医薬品備蓄拠点等
東海地震、東南海・南海地震進出拠点
航空輸送拠点
広域物資輸送拠点
公的物資拠点
民間物資拠点ターミナル
民間物資拠点倉庫
道の駅
油槽所・製油所
緊急物資輸送用耐震強化岸壁
幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
原子力発電所
河川防災ステーション
その他

優先啓開ルート
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

凡　例
資材置場
コンクリートプラント
アスファルトプラント

被害想定	
がれき量	8,543㎥
橋梁段差	50橋台
橋梁流出	0橋
落橋	1橋
斜面崩壊	1箇所

必要資機材量	
大型土のう	15袋
盛土	0㎥
土砂	285㎥
RC-40	470㎡
バックホウ（0.8㎥）	23台
ブルドーザー（3t/15t級）	21台
タイヤローラー（8～20t）	17台
振動ローラー（0.8～1.1t）	0台
振動ローラー（3～4t）	14台

最大浸水深（m）
0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

凡　例
広域進出拠点
進出拠点
救助活動拠点
その他の拠点
広域支援ルート
被災地進出ルート
被災地内ルート
迂回路
拠点アクセスルート
無電柱化区間

凡　例
第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
：ヘリポート（赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能）
：海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
：砂浜

上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
● ：ヘリポートを有する拠点
▲ ：海上輸送拠点・耐震強化岸壁

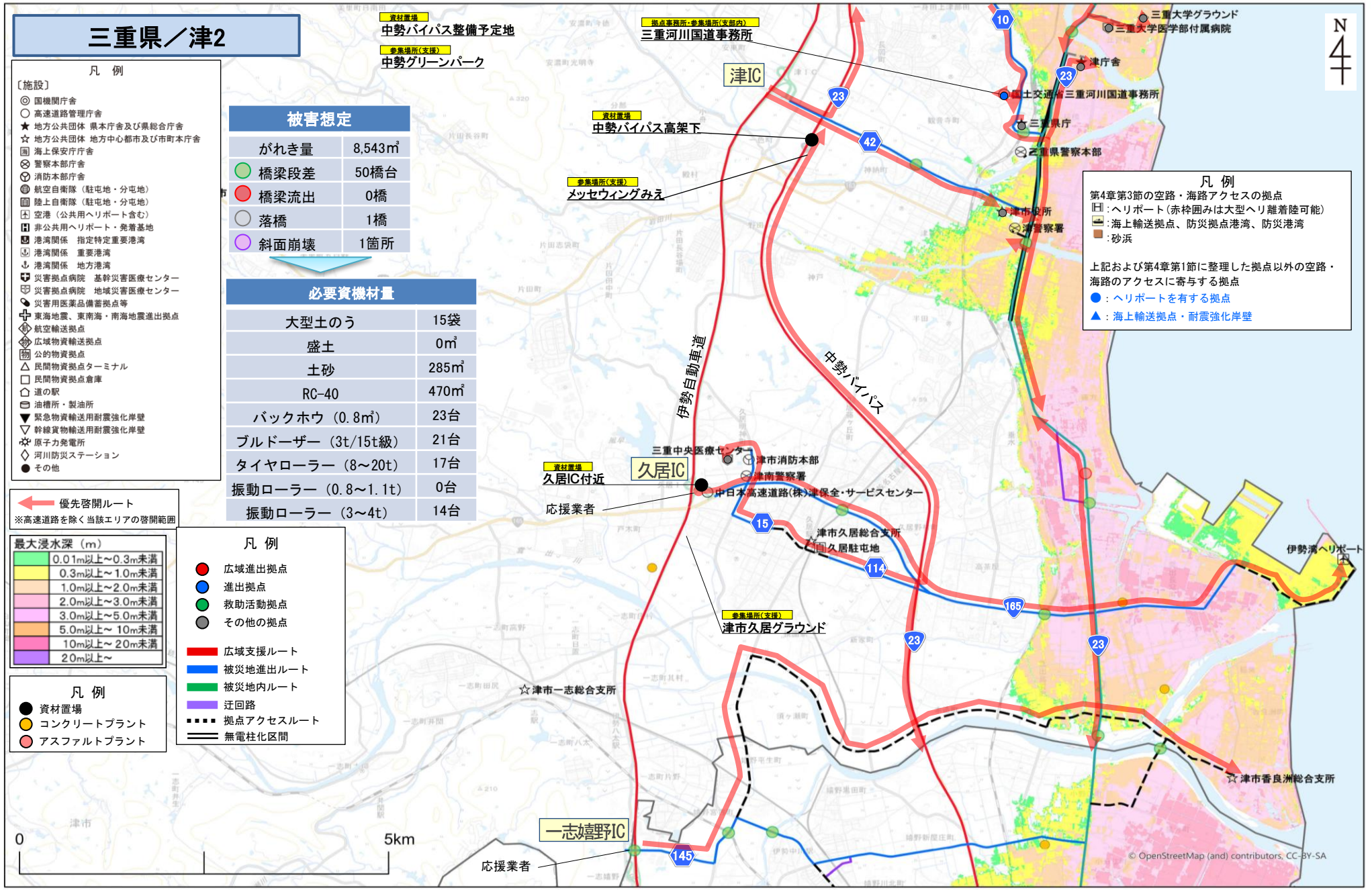
芸濃IC
☆津市芸濃総合支所
伊勢自動車道
安濃SA（上り線）
安濃SA（下り線）
☆津市安濃総合支所
三重県立看護大学
拠点事務所・参集場所(支部内)
三重河川国道事務所
資材置場
中勢バイパス高架下
久居IC付近
参集場所(支援)
メッセウイングみえ
津市久居グラウンド
津IC
中勢バイパス
資材置場
中勢バイパス整備予定地
参集場所(支援)
中勢グリーンパーク
HOWAパーク
道の駅　津かわげ
伊勢街道
☆津市河芸総合支所
河芸中央公民館・町民の森公園
津市北部運動広場
三重県広域防災拠点（中勢拠点サブ）
鈴鹿市立御座池公園
三重大学グラウンド
三重大学医学部付属病院
津庁舎
国土交通省 三重河川国道事務所
10
23
306
410

0　5km

© OpenStreetMap (and) contributors, CC-BY-SA

中部道路啓開計画　具体計画図

三重県／津2



凡　例
〔施設〕
- ◎ 国機関庁舎
- ○ 高速道路管理庁舎
- ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
- ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
- 海 海上保安庁庁舎
- ⊗ 警察本部庁舎
- ⊗ 消防本部庁舎
- 航 航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 陸 陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 空港（公共用ヘリポート含む）
- H 非公共用ヘリポート・発着基地
- 港湾関係　指定特定重要港湾
- 港湾関係　重要港湾
- 港湾関係　地方港湾
- 災害拠点病院　基幹災害医療センター
- 災害拠点病院　地域災害医療センター
- 災害用医薬品備蓄拠点等
- 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
- 航空輸送拠点
- 広域物資輸送拠点
- 物 公的物資拠点
- △ 民間物資拠点ターミナル
- □ 民間物資拠点倉庫
- 道の駅
- 油槽所・製油所
- ▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
- ▽ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
- 原子力発電所
- ◇ 河川防災ステーション
- ● その他

被害想定

がれき量	8,543㎥
橋梁段差	50橋台
橋梁流出	0橋
落橋	1橋
斜面崩壊	1箇所

必要資機材量

大型土のう	15袋
盛土	0㎥
土砂	285㎥
RC-40	470㎡
バックホウ（0.8㎥）	23台
ブルドーザー（3t/15t級）	21台
タイヤローラー（8～20t）	17台
振動ローラー（0.8～1.1t）	0台
振動ローラー（3～4t）	14台

凡　例
第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- H：ヘリポート（赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能）
- 海：海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
- 砂：砂浜

上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- ●：ヘリポートを有する拠点
- ▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁

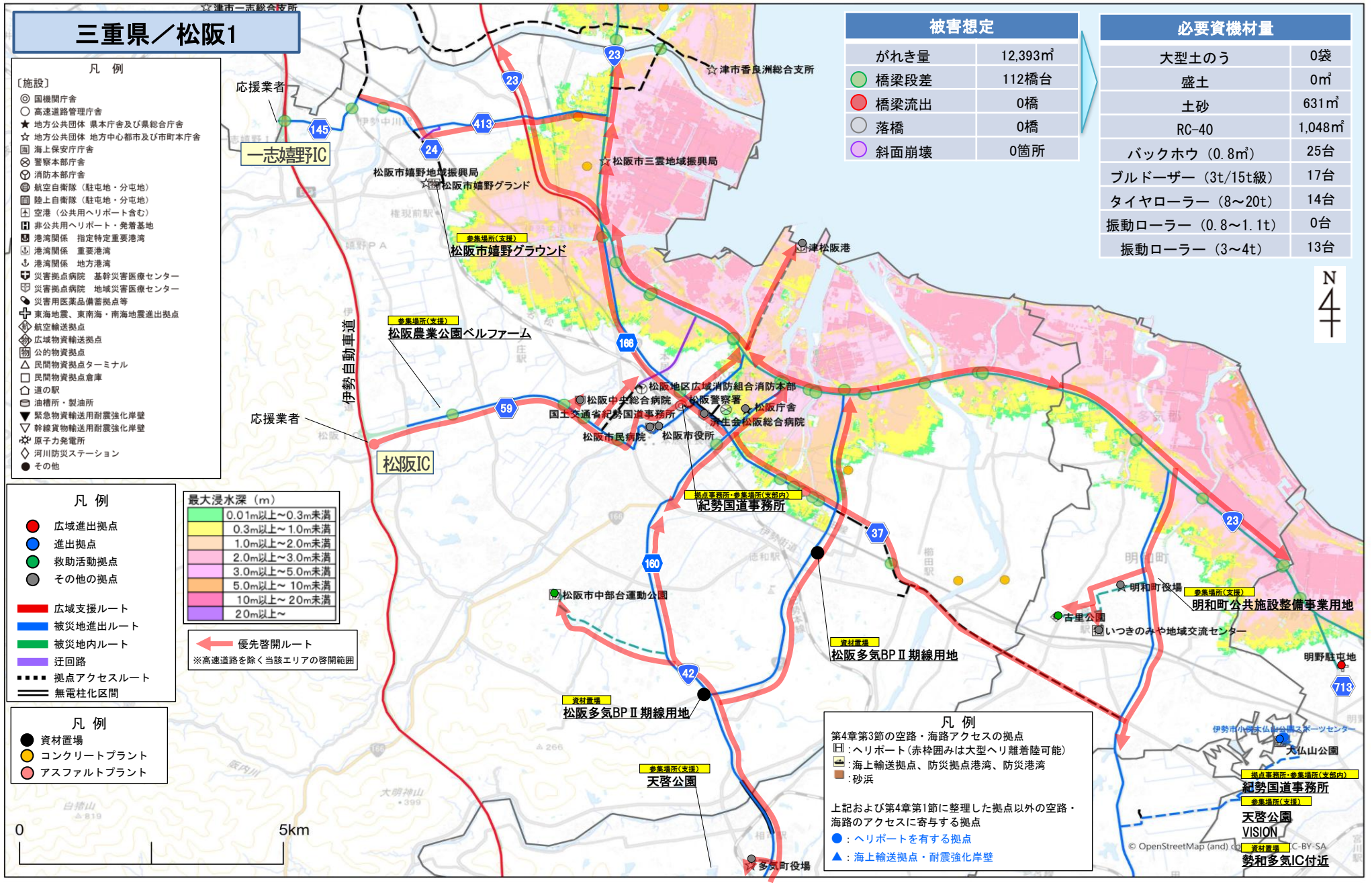
優先啓開ルート
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

最大浸水深（m）
0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

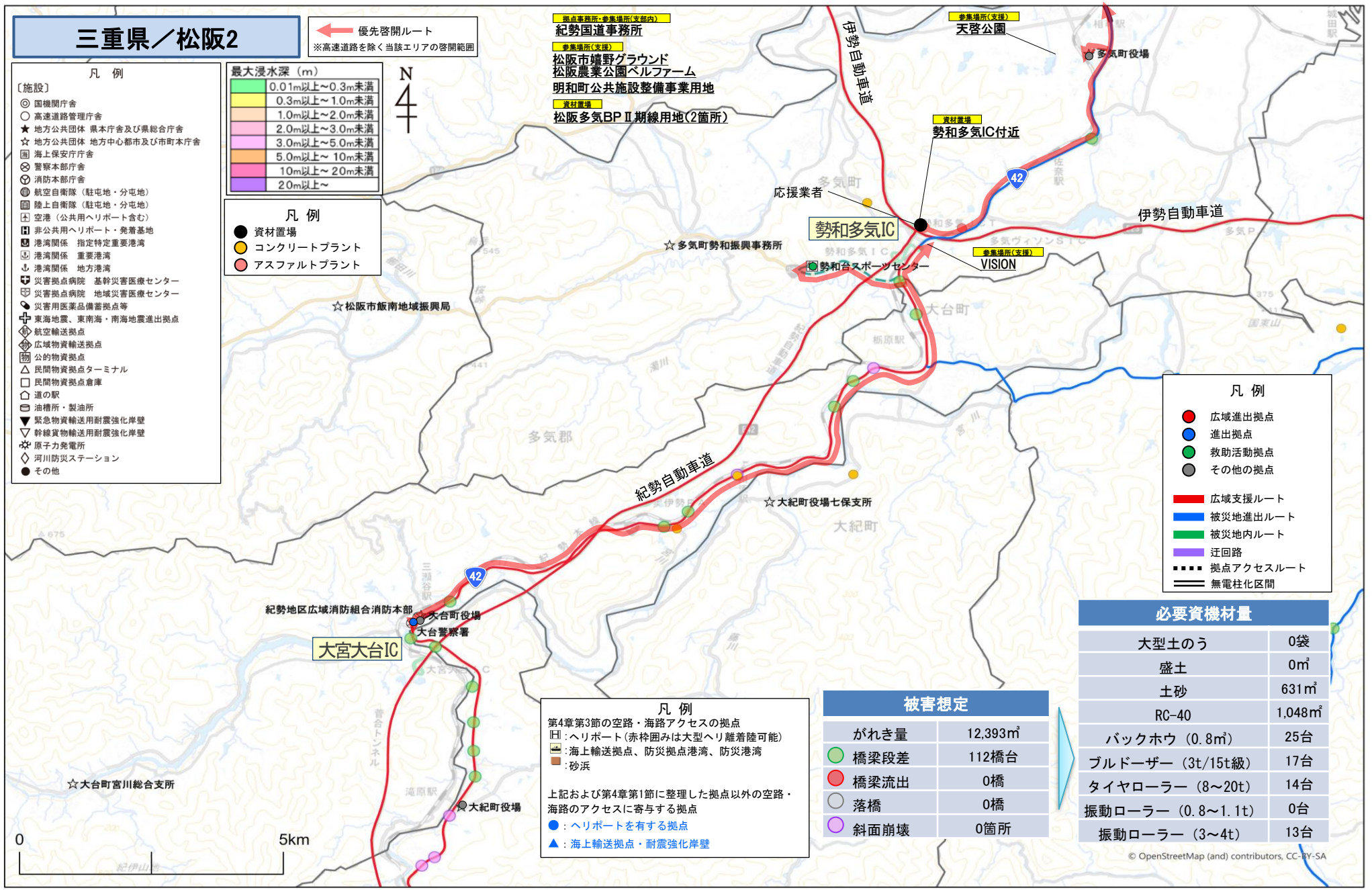
凡　例
- 資材置場
- コンクリートプラント
- アスファルトプラント

凡　例
- 広域進出拠点
- 進出拠点
- 救助活動拠点
- その他の拠点
- 広域支援ルート
- 被災地進出ルート
- 被災地内ルート
- 迂回路
- 拠点アクセスルート
- 無電柱化区間

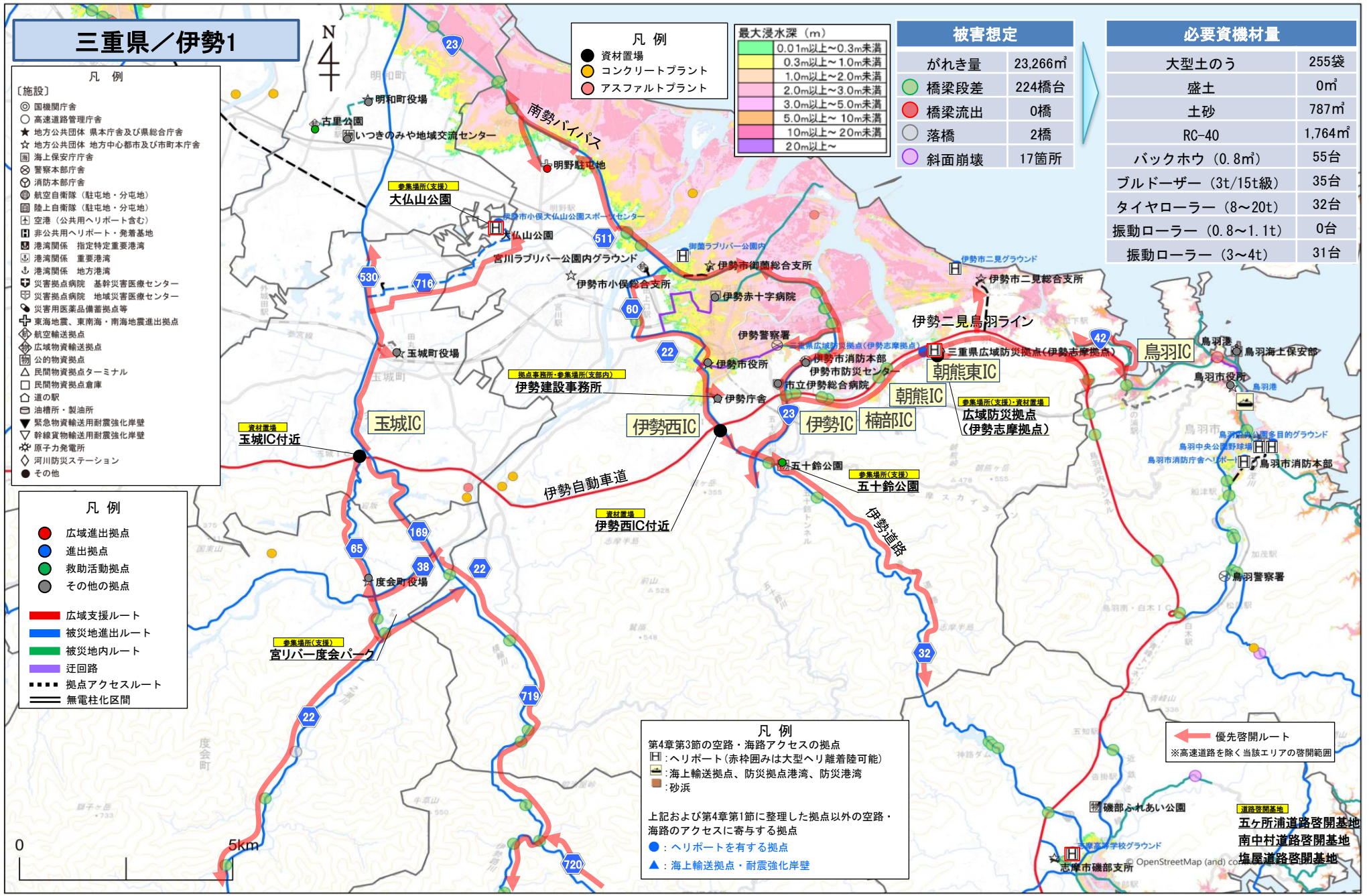
中部道路啓開計画　具体計画図



中部道路啓開計画　具体計画図

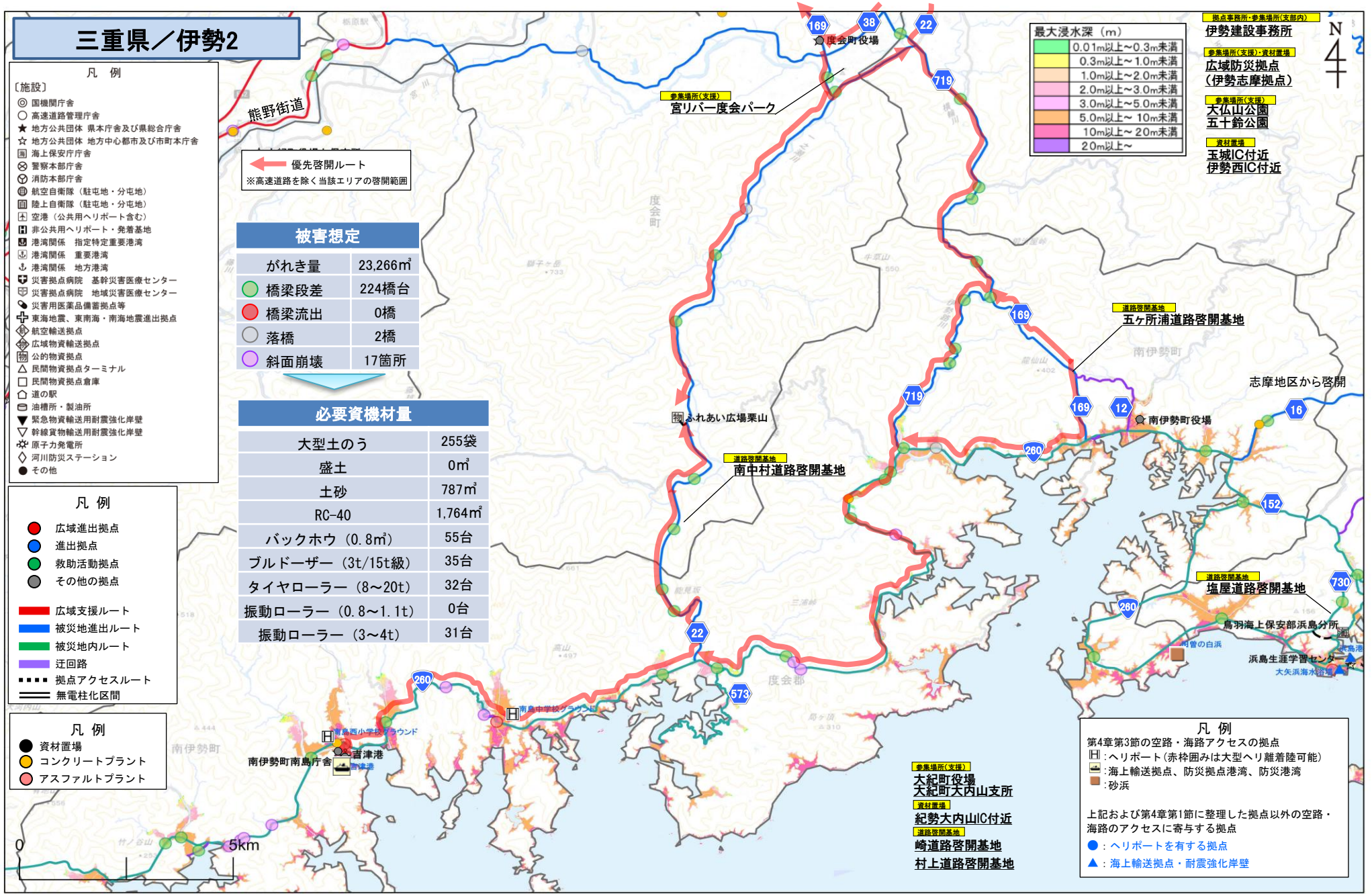


中部道路啓開計画　具体計画図

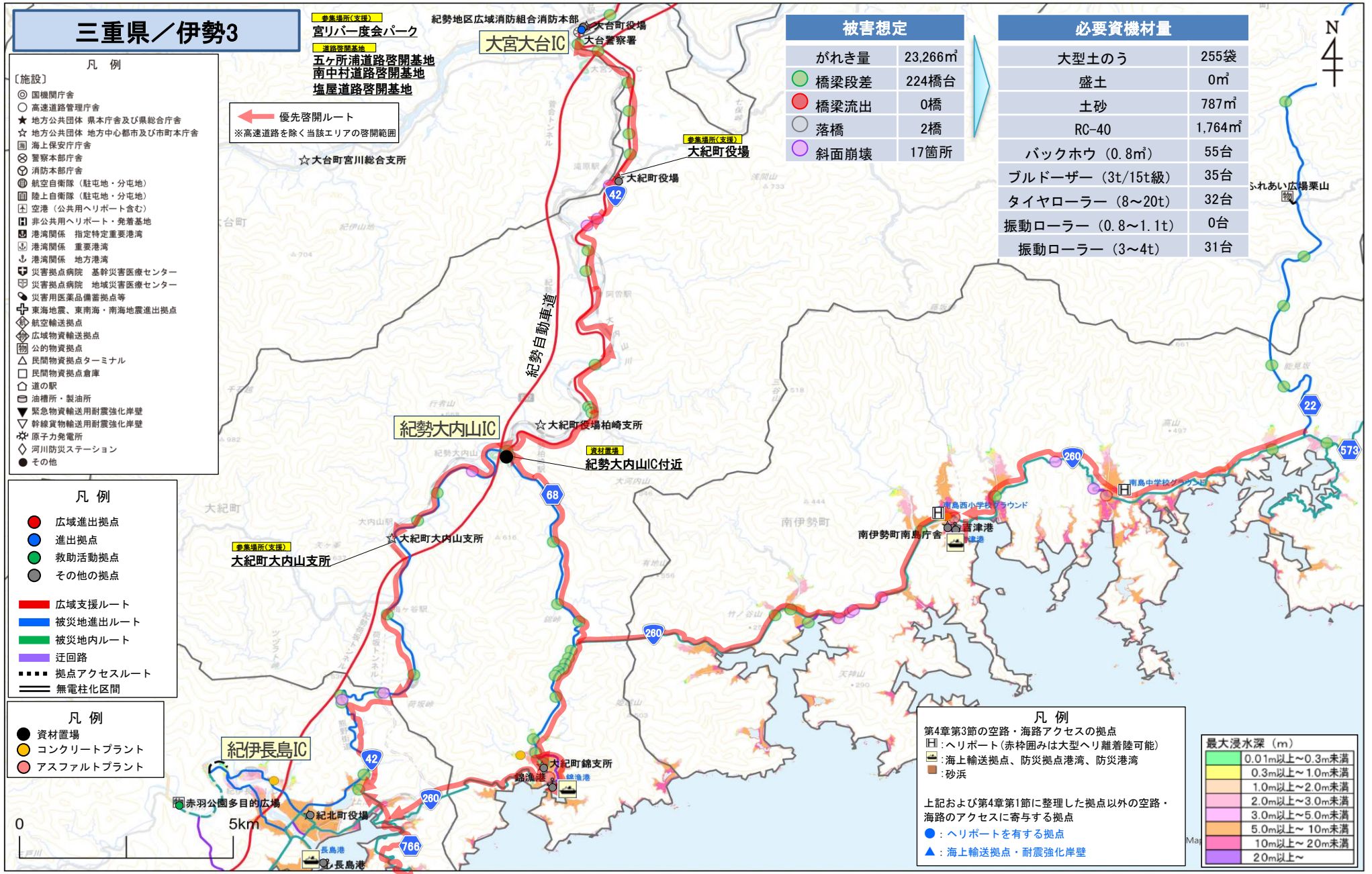


中部道路啓開計画　具体計画図

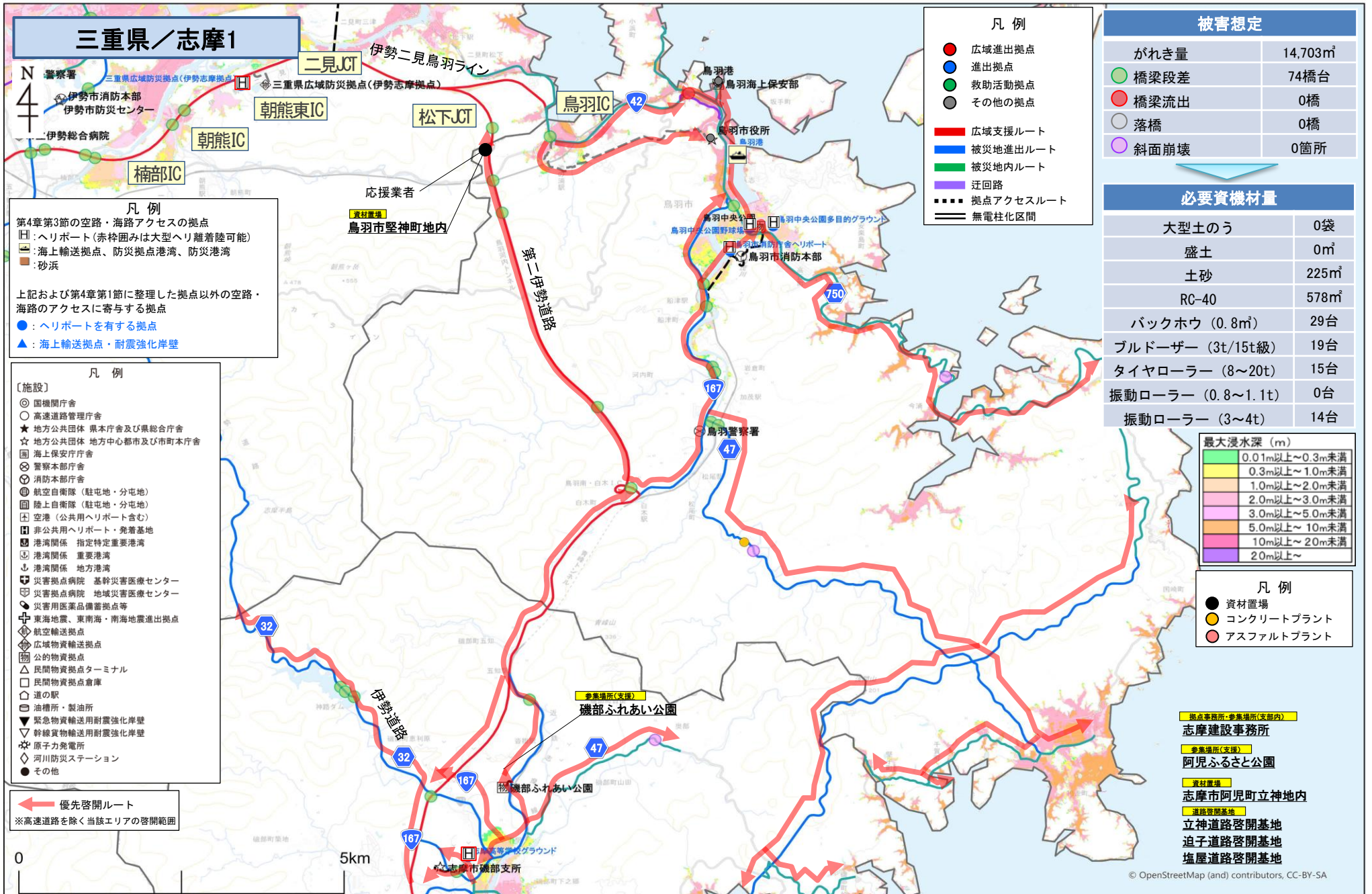
三重県／伊勢2



中部道路啓開計画　具体計画図



中部道路啓開計画　具体計画図



被害想定

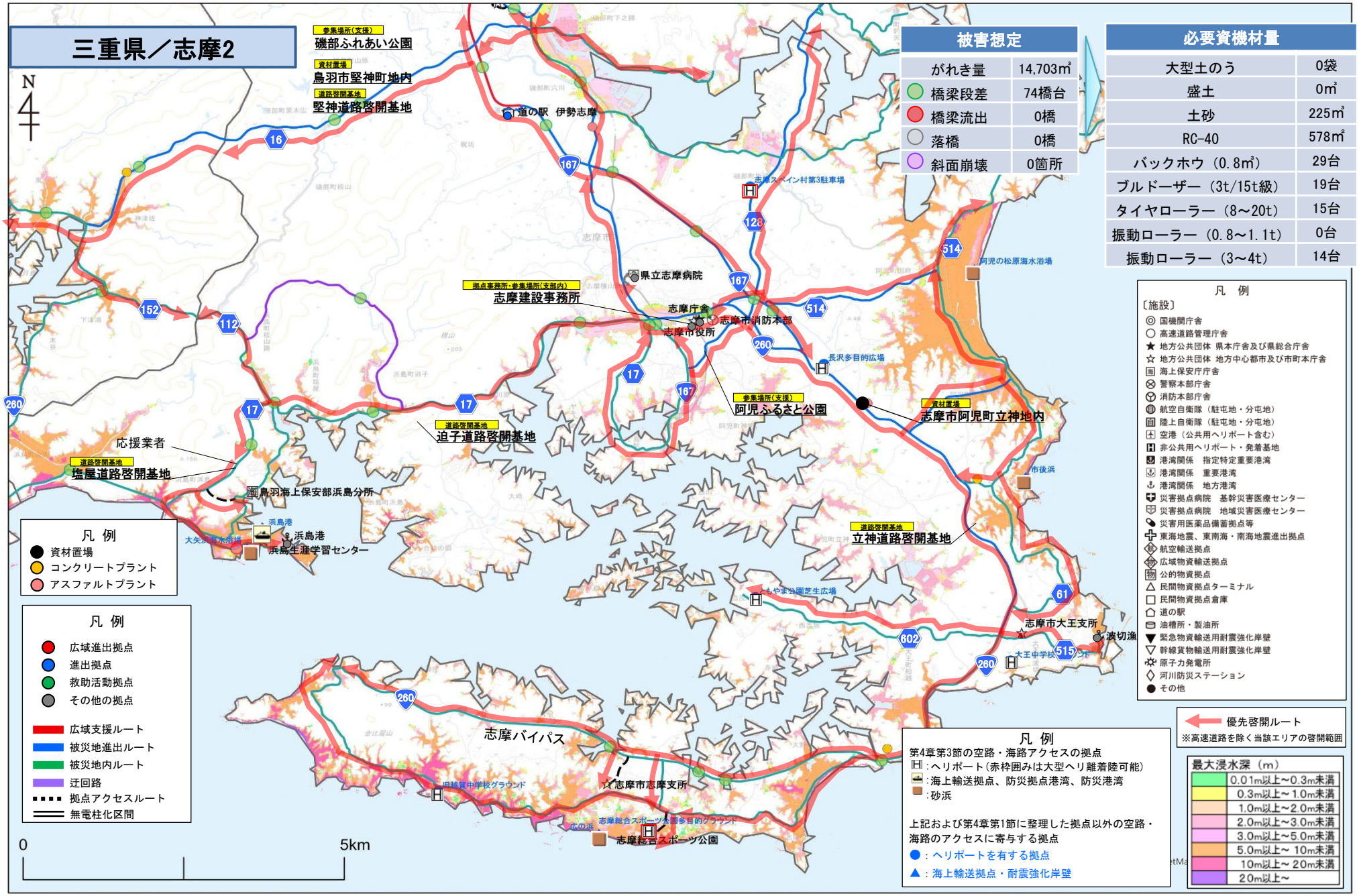
がれき量	14,703㎥
橋梁段差	74橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

必要資機材量

大型土のう	0袋
盛土	0㎥
土砂	225㎥
RC-40	578㎡
バックホウ（0.8㎥）	29台
ブルドーザー（3t/15t級）	19台
タイヤローラー（8～20t）	15台
振動ローラー（0.8～1.1t）	0台
振動ローラー（3～4t）	14台

中部道路啓開計画　具体計画図

三重県／志摩2



被害想定

がれき量	14,703㎡
橋梁段差	74橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

必要資機材量

大型土のう	0袋
盛土	0㎥
土砂	225㎥
RC-40	578㎡
バックホウ（0.8㎥）	29台
ブルドーザー（3t/15t級）	19台
タイヤローラー（8～20t）	15台
振動ローラー（0.8～1.1t）	0台
振動ローラー（3～4t）	14台

凡　例
〔施設〕
- ◎ 国機関庁舎
- ○ 高速道路管理庁舎
- ★ 地方公共団体　県本庁舎及び県総合庁舎
- ☆ 地方公共団体　地方中心都市及び市町本庁舎
- 海 海上保安庁庁舎
- ⊗ 警察本部庁舎
- 消 消防本部庁舎
- 航 航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 陸 陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 空港（公共用ヘリポート含む）
- 非公共用ヘリポート・発着基地
- 港湾関係　指定特定重要港湾
- 港湾関係　重要港湾
- 港湾関係　地方港湾
- 災害拠点病院　基幹災害医療センター
- 災害拠点病院　地域災害医療センター
- 災害用医薬品備蓄拠点等
- 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
- 航 航空輸送拠点
- 広域物資輸送拠点
- 物 公的物資拠点
- △ 民間物資拠点ターミナル
- □ 民間物資拠点倉庫
- 道の駅
- 油槽所・製油所
- 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
- ▽ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
- 原子力発電所
- ◇ 河川防災ステーション
- ● その他

凡　例
- 資材置場
- コンクリートプラント
- アスファルトプラント

凡　例
- 広域進出拠点
- 進出拠点
- 救助活動拠点
- その他の拠点
- 広域支援ルート
- 被災地進出ルート
- 被災地内ルート
- 迂回路
- 拠点アクセスルート
- 無電柱化区間

凡　例
第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- H：ヘリポート（赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能）
- ：海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
- ：砂浜

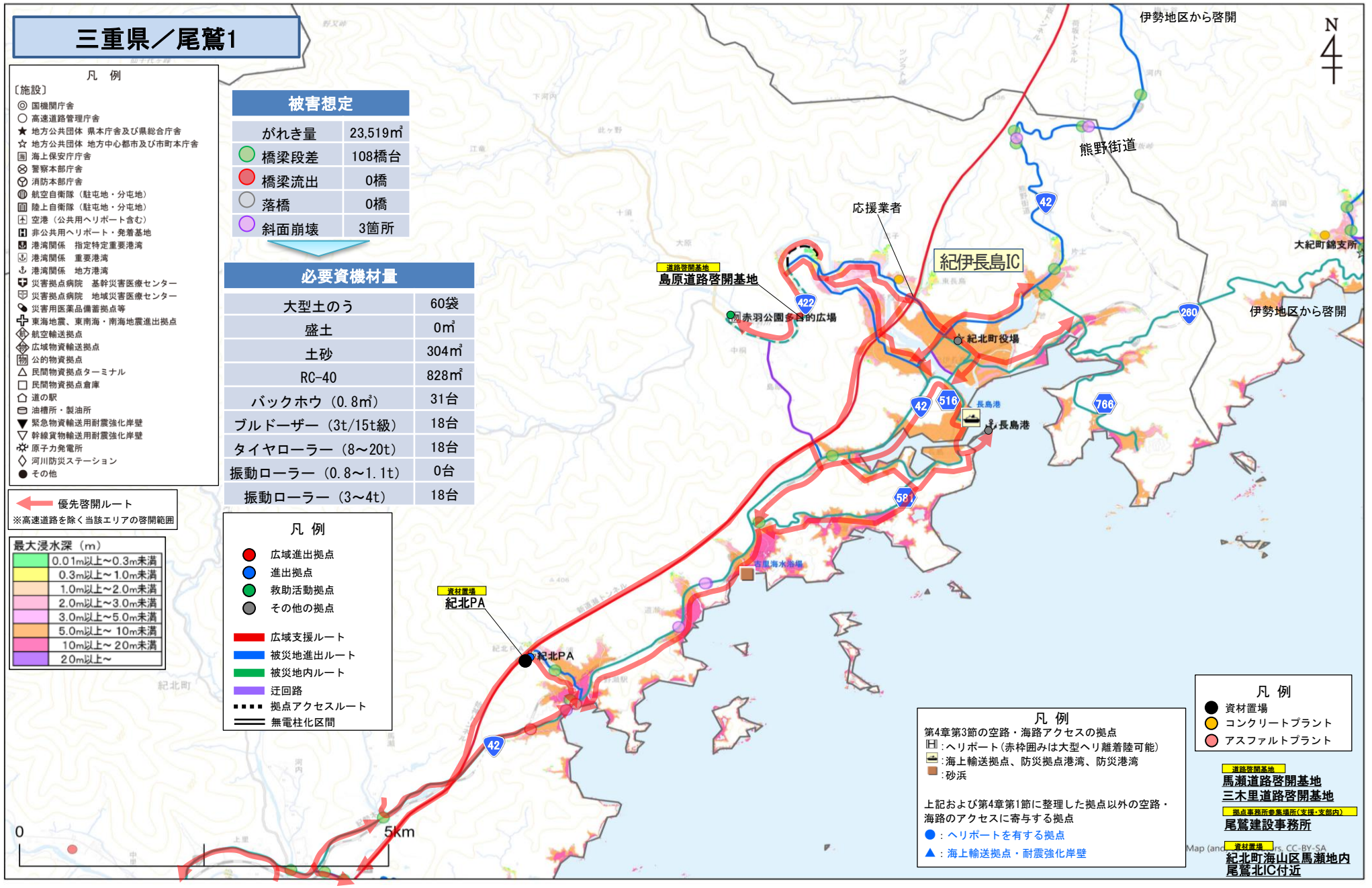
上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- ●：ヘリポートを有する拠点
- ▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁

優先啓開ルート
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

最大浸水深（m）
- 0.01m以上～0.3m未満
- 0.3m以上～1.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 3.0m以上～5.0m未満
- 5.0m以上～10m未満
- 10m以上～20m未満
- 20m以上～

中部道路啓開計画　具体計画図

三重県／尾鷲1



凡　例

〔施設〕

- 国機関庁舎
- 高速道路管理庁舎
- 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
- 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
- 海上保安庁庁舎
- 警察本部庁舎
- 消防本部庁舎
- 航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
- 空港（公共用ヘリポート含む）
- 非公共用ヘリポート・発着基地
- 港湾関係　指定特定重要港湾
- 港湾関係　重要港湾
- 港湾関係　地方港湾
- 災害拠点病院　基幹災害医療センター
- 災害拠点病院　地域災害医療センター
- 災害用医薬品備蓄拠点等
- 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
- 航空輸送拠点
- 広域物資輸送拠点
- 公的物資拠点
- 民間物資拠点ターミナル
- 民間物資拠点倉庫
- 道の駅
- 油槽所・製油所
- 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
- 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
- 原子力発電所
- 河川防災ステーション
- その他

優先啓開ルート
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

被害想定

がれき量	23,519㎥
橋梁段差	108橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	3箇所

必要資機材量

大型土のう	60袋
盛土	0㎥
土砂	304㎥
RC-40	828㎡
バックホウ（0.8㎥）	31台
ブルドーザー（3t/15t級）	18台
タイヤローラー（8～20t）	18台
振動ローラー（0.8～1.1t）	0台
振動ローラー（3～4t）	18台

最大浸水深（m）

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

凡　例

- 広域進出拠点
- 進出拠点
- 救助活動拠点
- その他の拠点
- 広域支援ルート
- 被災地進出ルート
- 被災地内ルート
- 迂回路
- 拠点アクセスルート
- 無電柱化区間

凡　例

第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ：ヘリポート（赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能）
- ：海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
- ：砂浜

上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- ●：ヘリポートを有する拠点
- ▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁

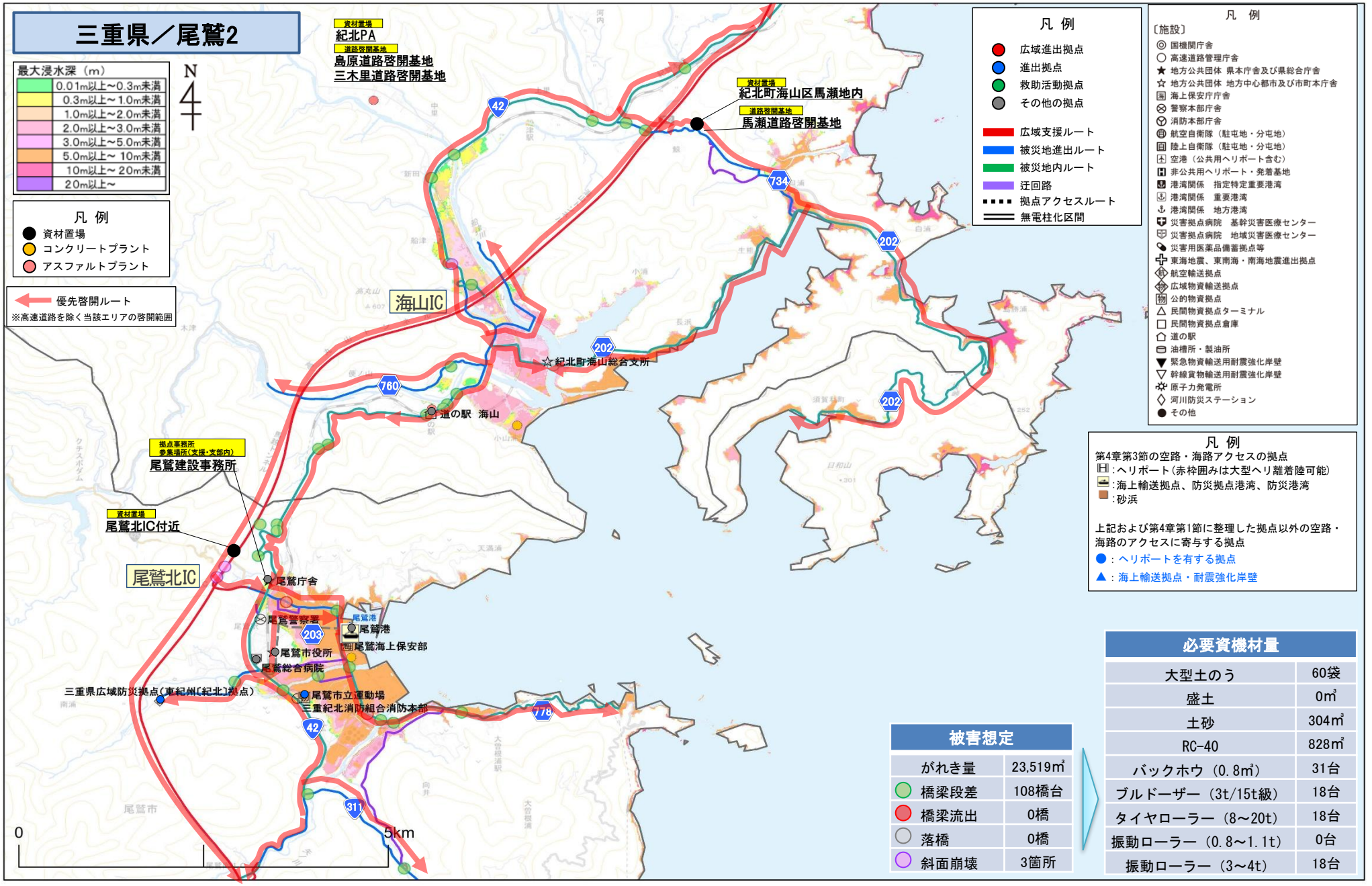
凡　例

- 資材置場
- コンクリートプラント
- アスファルトプラント

道路啓開基地
馬瀬道路啓開基地
三木里道路啓開基地
拠点事務所参集場所（支援・支部内）
尾鷲建設事務所
資材置場
紀北町海山区馬瀬地内
尾鷲北IC付近

Map (and ... rs, CC-BY-SA

中部道路啓開計画　具体計画図

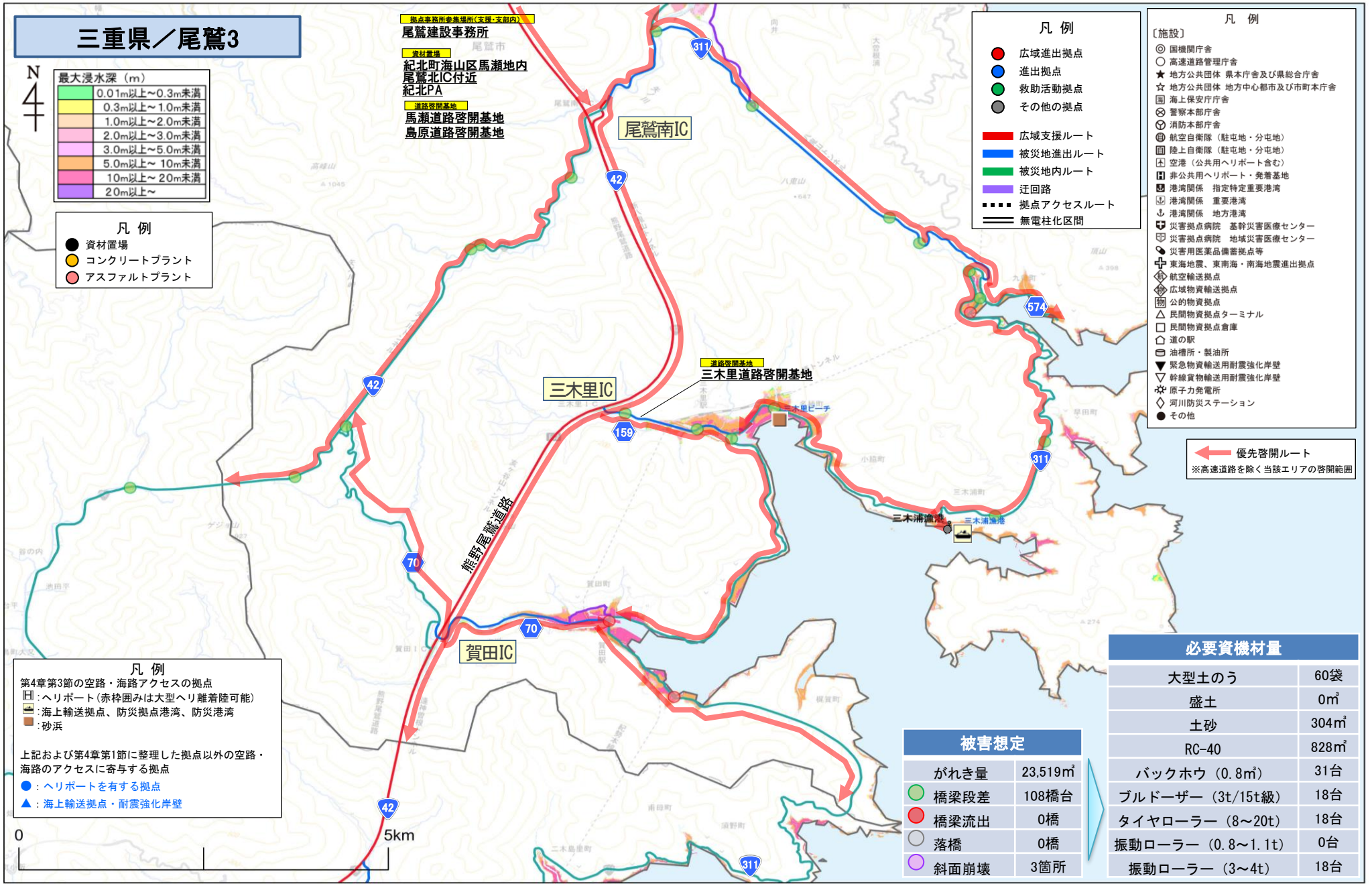


被害想定	
がれき量	23,519㎥
橋梁段差	108橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	3箇所

必要資機材量	
大型土のう	60袋
盛土	0㎥
土砂	304㎥
RC-40	828㎡
バックホウ（0.8㎥）	31台
ブルドーザー（3t/15t級）	18台
タイヤローラー（8～20t）	18台
振動ローラー（0.8～1.1t）	0台
振動ローラー（3～4t）	18台

中部道路啓開計画　具体計画図

三重県／尾鷲3



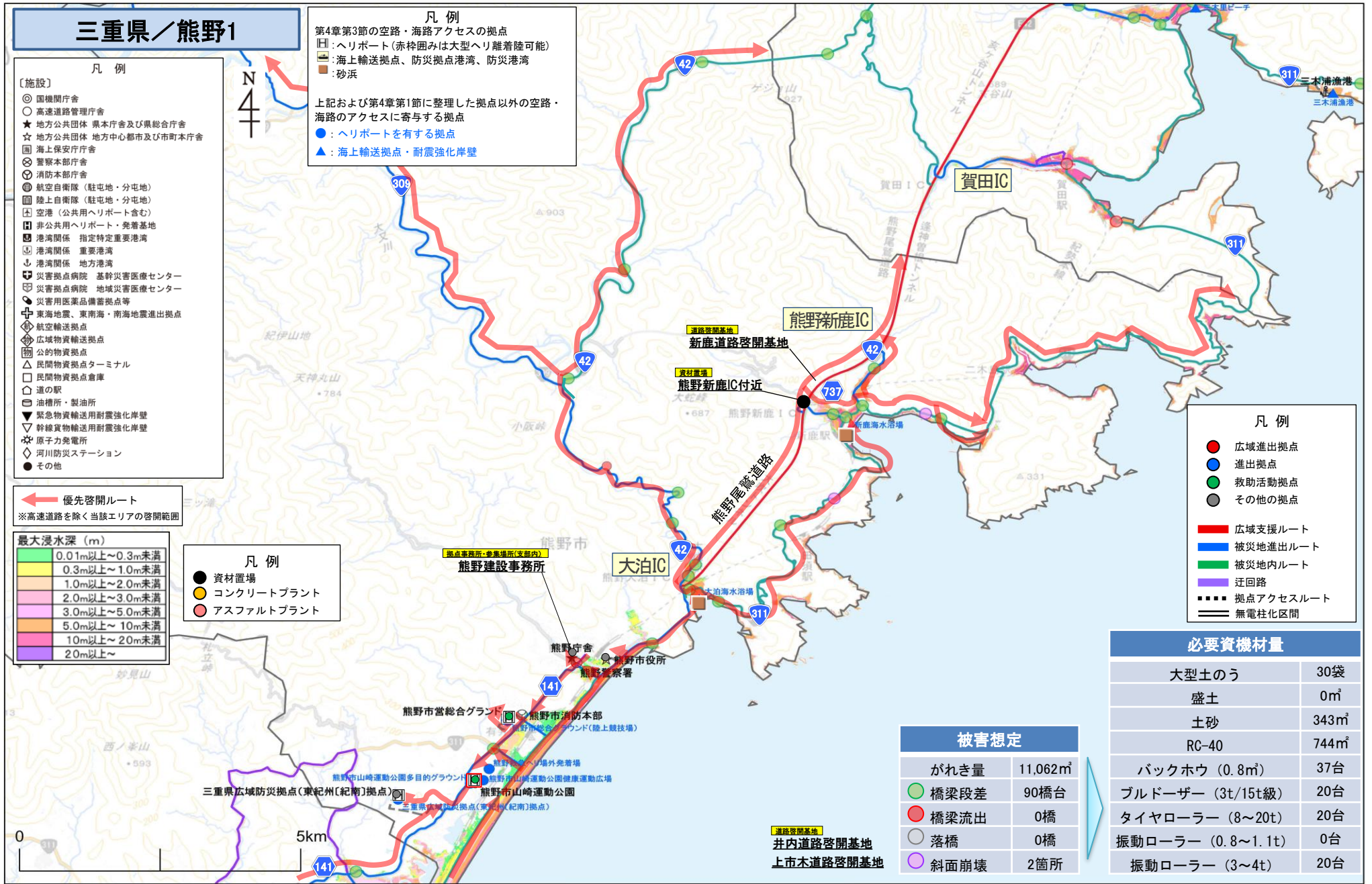
被害想定

がれき量	23,519㎥
橋梁段差	108橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	3箇所

必要資機材量

大型土のう	60袋
盛土	0㎥
土砂	304㎥
RC-40	828㎡
バックホウ（0.8㎥）	31台
ブルドーザー（3t/15t級）	18台
タイヤローラー（8～20t）	18台
振動ローラー（0.8～1.1t）	0台
振動ローラー（3～4t）	18台

中部道路啓開計画　具体計画図

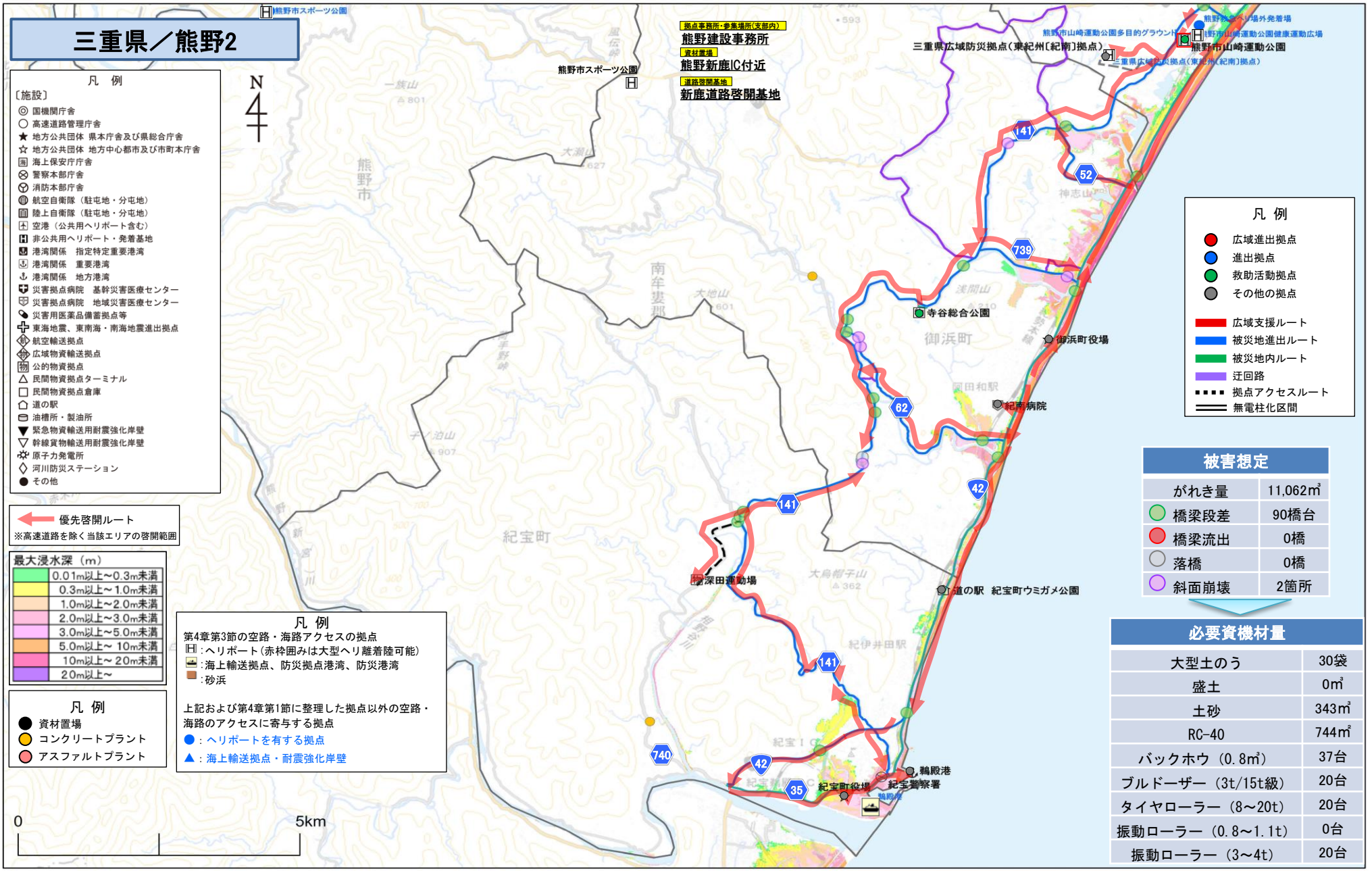


被害想定	
がれき量	11,062㎥
橋梁段差	90橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	2箇所

必要資機材量	
大型土のう	30袋
盛土	0㎥
土砂	343㎥
RC-40	744㎡
バックホウ（0.8㎥）	37台
ブルドーザー（3t/15t級）	20台
タイヤローラー（8～20t）	20台
振動ローラー（0.8～1.1t）	0台
振動ローラー（3～4t）	20台

中部道路啓開計画　具体計画図

三重県／熊野2



被害想定

がれき量	11,062㎥
橋梁段差	90橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	2箇所

必要資機材量

大型土のう	30袋
盛土	0㎥
土砂	343㎥
RC-40	744㎡
バックホウ（0.8㎥）	37台
ブルドーザー（3t/15t級）	20台
タイヤローラー（8～20t）	20台
振動ローラー（0.8～1.1t）	0台
振動ローラー（3～4t）	20台